

I. 事業報告

1. 法人本部

令和5年度社会福祉法人北摂杉の子会年度方針

(1) 第5次5か年中期計画に基づく、令和5年度計画の遂行

- ①新中期計画の5ビジョンについて進捗管理シートを活用し、把握する。必要に応じてヒアリングを実施し、現場職員とのコミュニケーションを図る。
- ②収支や職員数などの客観的なデータに基づき、分析と今後の戦略を検討する。
- ③法人シンボルマークを作成し、ホームページ、パンフレット等に活かす。
- ④農福連携（きのこ事業）の開設準備を進める。

【成果】

- ①②第5次5か年中期計画については、進捗管理シートを活用して取り組んできた。
現場とのヒアリングは実施していないものの、運営会議等で進捗把握や意見交換を行い、経営戦略企画室と人材確保育成支援室と進捗管理を行った。また、令和5年度は中期計画の2年目で折り返し時期でもあり、計画の見直しと新規の計画を追加し、経営会議と運営会議で承認を得た。
- ③法人シンボルマークについては法人内でプロジェクトチームを発足させ、株式会社ケント・チャップマンの大久保さんにサポートいただきながら、マーク完成に至ることができた。早速、新卒採用等のイベント時にシンボルマークを使用しており、次年度においてはホームページやパンフレット、公用車のラッピングなど広報活動に活用していきたい。
- ④農福連携の新規事業としてきのこ事業を検討してきたが、土地の確保等で検討は一旦中断している。ただ、土地探しのなかで地元の方との繋がりが新たにでき、畑を借りて「レモンの木」「いちじく」などを育てている。レモンについては3年後の収穫の際には、LaLa chocolatで「高つきレモンショコラ」の商品に活用したい。

(2) 第4次5か年中期計画未達成事業の継続

- ①「ジョブサイトひむろ」整備事業の第2期整備施工を目指す。
- ②仮称「レジデンス萩の杜」（共同生活援助）の整備と「萩の杜」の住環境の改善計画を進める。
- ③就労継続支援事業B型事業等利用者工賃の向上と障害福祉の枠組みを超えた共に働く場創設の検討を行う。
- ④乳幼児・学齢期を通した切れ目ない支援体制の創造・充実に向けた必要とされる支援サービス・事業の在り方の検討を行う。

【成果】

- ①ジョブサイトひむろ新築2期工事については、令和5年度予算、令和5年度補正予算での国庫補助金申請については、いずれも非採択となった。ただ、8月の理事会において、非採択だった場合でも着工する旨が承認されたため、今後は年内完工に向けて計画を進めていく。

- ②仮称「レジデンス萩の杜」（共同生活援助）に整備については、12月に高槻市との事前協議を終え、令和6年度の施設整備費国庫補助金申請を行なうことが出来た。今後の予定であるが、5月に土地の造成工事を開始、6月末に補助金の内示、入札を経て、9月建物の建設を開始し、令和7年5月頃の開設を目指している。今後は移行いただく、ご利用者の選定など、ご家族とコミュニケーションをとって進めていく予定。
- ③経営戦略企画室と日中活動支援部で検討を行なった。ご利用者のニーズベースの活動の創出。活動の選択肢を増やす事、を確認した。令和6年度に新たな日中活動の仕事の創出を行なうプロジェクトを開始する。
- ④豊中市委託事業において、肢体不自由児親子通所事業（1歳児～）をはじめとし、2歳児親子通所事業を開始。また、高校生対象の事業も開始することになった。切れ目のない支援体制の創造・充実に向け、実践を通してサービス内容を検討していく。
 - ・茨木市との協議を継続し、市の委託を受けながら切れ目のない支援が行える体制検討を図る。

（3）人材確保・育成に引き続き注力する

- ①キャリアパスの策定を進める。
- ②PECSの取り組みや階層別研修を実施し、職員の専門性を高める。
- ③メンター制度の取り組みや事業所間交流研修等を通じて、職員の交流を活発にこなう。
- ④メンタルヘルス対策を推進し、職員の離職を防ぐ。

【成果】

- ①第3期キャリアパスプロジェクトを発足し、法人共有キャリアパスから各サービス種別ごとのキャリアパス策定の検討をおこなった。また、職員個々のキャリアデザイン集の作成に着手した。
- ②今年度も児童精神科医の門眞一郎先生による各事業所でのPECSの取り組みについてSVを受けた。SVの実施についてはPECSコアメンバーが運営と進捗をおこなった。研修企画運営プロジェクトを発足し、階層別研修の企画運営を進め令和6年2月法人研修にて5階層に分けて研修を開催した。
- ③昨年度に続き事業所間を越えたななめの関係にてメンター制度の取り組みをおこなった。今年度は29組のメンター・メンティーのペアでスタートした。また、11月にはメンターを対象とした交流会を開催した。
- ④11～12月にかけて全職員を対象に「メンタルヘルスアンケート」を実施し、243名から回答を得た。この結果をもとに令和6年2月の法人研修にてメンタルヘルス研修を企画し、外部講師によるヨガとアサーショントレーニングをおこなった。

（4）安定した財務基盤確立に向けた取り組みに注力する

- ①適正積立金を3億円と設定して、計画的な当期資金収支差額の改善を目標とする。
- ②各事業部長が収支改善計画を立案して、計画の遂行管理を法人事業部財務担当者と協力

して実行する。

- ③健全な収益向上を目指し、支援サービスとのバランスを考慮しながら、各事業所の適正人件費率の検討を進める。

【成果】

- ①令和5年度末時点での積立金額が約1億2千万円。設定額の3億円とは開きがあるものの毎年度積立金の増額を行っている。引き続き設定額へ向けて計画的な資金収支差額改善を図っていく。
- ②収支が赤字の事業について個別に意見交換をするなど、各事業部長と協力して遂行管理をすることができた。
- ③人件費率は70%台前半であり、社会福祉法人の平均をやや上回る値となった。支援サービスの質を落とすことなく収支を安定させるべく、引き続き適正人件費率の検討を行う。

(5) 利用者支援の質の向上、業務の効率化・省力化に向けたICTの活用を推進する

- ①各事業所へのICT運用を拡充していく。
- ②支援ソフトの導入や現場へのICT支援、chatworkやGoogleworkspaceなどのプラットフォームの整備を広めていく。

【成果】

- ①メール運用をアルファメールからGoogleへ移管し、GoogleWorkspaceを軸とした法人業務運用の基礎を構築するとともに、Googleドライブの積極利用によりローカルにデータを置かない、物理的なNAS(ナス)に依存しない業務の推進を実施。GoogleChromeを規定ブラウザとし、Googleアカウントでログインすることで、使用する端末に縛られない業務のあり方を提案、促進した。
- ②あゆみの施設移転サポート、will,Linkの職場環境改善サポート等のICTサポートを実施。

(6) 法人の社会的責任・法令順守・利用者の権利擁護の推進

- ①新たなミッションに基づいた経営、法令を遵守した運営を進める。
- ②あらゆる質の向上(マネジメント・財務・環境・支援・パートナーシップ)を目指す。
- ③利用者の権利擁護の取り組みを推進する。

【成果】

- ①新たなミッションに基いた経営・法令順守という点では、テーマとなっている重い障害のある方の支援を継続的に行なうことや、外部コンサルテーションを実施する等で法人のミッションや社会的責任の遂行につなげることや、安定経営にもつなげたい。
- ②質の高い支援、マネジメント、環境整備、運営等々を行なっておられる法人様を訪問し、様々なご教示をいただく等を行なった。今後のさらなる質の向上につなげたい。
- ③利用者の権利擁護の取り組みについて、全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定し権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行なうことや、身体拘束についての研修等を

実施した。令和5年度は法人内で1件の不適切事案があったが、支援の見直しを図ることや、グリーゾーンアンケートを実施して振返りを行なった。また当該事業所だけでなく、それをきっかけに同様にグリーゾーンアンケートの実施や振返りを行なった部署もあり、人権意識の醸成に努めた。他法人様から依頼を受け、権利擁護研修等を実施することが出来た。

2. 法人事業部

(1) 令和5年度重要実施事項

- ①杉の子マインドの浸透
- ②地域と共に
- ③suginokobrandの確立
- ④多様な働き方
- ⑤みんなで作る法人

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

- ①年4回の法人研修を実施した。階層別研修も実施するなど一部内容を見直した。
支援ソフトのトライアルを実施して、導入に向けた情報収集を行った。
- ②ジョブサイトひむろの第2期工事が未執行であった。
次年度での着実な執行へ向けてサポートをしていく。
- ③11月に実施した「北摂杉の子会セミナー2023」について、
PC設定・配信用動画データ編集など、実施をサポートした。
- ④年間休日数増加に向けた取り組みを行い、課題や増加に向けた手続きを確認した。
- ⑤GoogleWorkspace利用のためのGoogleアカウントを全在職職員に発行した。
メールソフトを「Outlook」から「Gmail」に移行した。

3. 萩の杜

(1) 令和5年度重要実施事項

- ①杉の子マインドの浸透
- ②地域と共に
- ③suginokobrandの確立
- ④多様な働き方
- ⑤みんなで作る法人

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

- ①生涯にわたる地域での暮らしの実現
 - i)外部や内部のスーパーバイザーを活用し、評価キットを使用しての利用者のアセスメントや実践報告会、困難ケース支援に関するコンサルテーションを実施した。
 - ii)業務の振り返りチェックとクレドの振り返りをおこない、リスクマネジメント委員会等で結果の振り返りをおこなった。
 - iii)生活介護事業の主従間での合同会議をおこない、利用者の高齢化に伴う活動グルー

ブ再編について協議した。また、ダウン症の高齢化について、他法人入所施設や法人内グループホームの見学と意見交換をおこなうとともに、地域生活支援部合同でダウン症に関する合同研修を実施した。

②地域と共に

- i) 事業所内での感染症集団感染防止に努めたが、年末年始に新型コロナウイルスの集団感染があった。
- ii) 医療連携推進室会議において、災害等に関する BCP(事業継続計画)簡易版を作成して職員間に周知した。
- iii) 関係機関の施設見学や実習、インターン等の受け入れを積極的に進め、障がい理解等の啓発に努めた。

③suginokobrand の確立

- i) 萩の杜 重度高齢化対策プロジェクトを継続して実施し、施設整備費国庫補助金申請準備や土地造成の打ち合わせ等「レジデンスはぎのもり」開設や「萩の杜」住環境改善に向けての準備をおこなった。

④多様な働き方

- i) 個別研修計画の作成には至らなかったが、個々の聞き取りや希望に挙げた研修派遣をおこなった。また、「レジデンスはぎのもり」開設に向け、法人内グループホームと合同で、他法人(明石市 明桜会)の高齢グループホームへ支援員 3 名の実習派遣をおこなった。
- ii) 新入職員研修の企画実施や、リスクマネジメント委員会内でのミニケースカンファレンスを実施した、
- ii) 生活棟 C グループ共用部分に見守りカメラを設置し、夜勤職員による夜間巡視の補助とした。また、職員間の情報共有システムとして、グーグルドライブへの移行に着手した。

⑤みんなで作る法人

- i) 家族会定例会や安全対策委員会、通所部懇談会にて事業所の運営状況について情報共有を図り、事業所の密室化防止に努めた。
- ii) 正職員、嘱託職員が集まる全体会議にて、事業所の収支確認をおこない、固定費削減や収入確保に向けた議論をおこなった。また、加算取得に向けて強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)受講を計画的におこなった。

4. 短期入所 (ぶれいす Be)

(1) 令和 5 年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

- i) ご利用者の権利擁護に基づき、説明のできる支援を継続して行なう。
- ii) BCP に基づく災害時の運用についての検討を行なう。

②地域と共に

- 1) 地域の短期入所、日中一時支援事業所と相談支援事業との連携を図り、運営の課

題やケースの共有を行ない、課題解決に向けて取り組んでいく。

ii) 医療的ケアがある方の受け入れ方法を検討し、医療連携体制を整えていく。

③suginokobrand の確立

i) 法人内の短期入所、日中一時事業の在り方を検討して、運営方法、人材確保と育成の検討を行なう。

④多様な働き方

i) 職員の業務の振り返りを定期的に行なう

ii) 職員のストレスチェックを実施する

⑤みんなで作る法人

i) ChatWork 等を利用して、情報が伝わりやすい環境を整える

(2) 令和 5 年度の取り組み内容と評価

①杉の子マインドの浸透

i) e ラーニングを使用して、ご利用者の権利擁護について研修を行なった
10 月に Be 通所と共に虐待防止の研修を行った。

ii) 福祉避難所としての短期入所の利用について検討を行なった。

②地域と共に

i) ケース会議等を通じて情報共有を行ない、他事業所の見学も受け入れた

ii) 人工肛門の方の日中一時受け入れを通所看護師と連携して受け入れを行なっている。ケース会議を行ない、短期入所の受け入れも行なった。

③Suginokobrand の確立

i) 重身の日中一時、短期入所事業の運営について検討を行ない、次年度見直しを行なう。

④多様な働き方

i) 内部研修でのご利用者の権利擁護の研修を行ない、通所と合同で内部研修を行い、業務の振り返りを行なった。

⑤みんなで作る法人

i) ・夜勤や早出職員との情報共有において、ChatWork を利用して、タイムラグのない情報共有を行なった。

5. ジョブサイトひむろ

(1) 令和 5 年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

②地域と共に

③suginokobrand の確立

④多様な働き方

⑤みんなで作る法人

(2) 令和 5 年度の取り組み内容

①杉の子マインドの浸透

i) ジョブサイトひむろ新築 2 期工事に際し、令和 5 年度予算国庫補助金の採択を目

指し、2期棟への移行の準備を進める

- ii) ご利用者の高齢化、重度化を見据えた支援のシフトチェンジを図る。
- iii) ご利用者の意思決定、表出コミュニケーション支援を推進する。
- iv) 権利擁護虐待防止計画の推進と進捗管理を行う。
- v) ご家族、関係機関とのパートナーシップを強化する。

②地域と共に

- i) 事業所からの発信や活動を通じ、地域社会とのつながりを深める。
- ii) 感染症・非常災害発生の際の業務継続計画（BCP）をガイドラインに沿って実行し、令和6年4月からの義務化に備える

③suginokobrand の確立

- i) 事業所としての suginokobrand のブランディングを始める。
- ii) アートや畑を通じた活動をより発展させる。

④多様な働き方

- i) 事業所内外の交流や研修を通じ、支援の統一と質の向上につなげる。
- ii) 新入職員に対するメンター制度の継続と、対象者を拡大して実施する。
- iii) 誰もが働きやすい、必要とされる職場環境づくりに努める。

⑤みんなで作る法人

- i) 事業所内で収支の進捗確認を毎月実施する。
- ii) 重度障がい者支援加算の新規算定と新たな加算算定を検討する。
- iii) 令和6年4月からの新規利用者を確定させる。

(3) 評価

①杉の子マインドの浸透

- ・ジョブサイトひむろ新築2期工事については、令和5年度予算、令和5年度補正予算での国庫補助金申請については、いずれも非採択となった。ただ、8月の理事会において、非採択だった場合でも着工する旨が承認されたため、今後は年内完工に向けて計画を進めていく。
- ・事業所内16名のご利用者に対し、DSQIIDを実施し評価を行った。
- ・5月の利用者健診において昨年に続き、便潜血検査、甲状腺機能検査、腫瘍マーカーを希望者に対しオプションで実施した。
- ・年度初めにチームリーダー2名がPECSレベル2ワークショップを受講した。また、個別支援計画に基づき、Café Beや地域の店舗でPECSでの購入支援を始めている。
- ・8月に2回権利擁護虐待防止の研修会（内容はグレーゾーンについて）を実施し、11月に事業所内でクレドの振り返りチェックを行った。
- ・7月7日（金）に家族会との共催で「ジョブサイトひむろ祭り」を開催し、17組のご家族、ぷれいす Beのご利用者も参加された。

②地域と共に

- ・たかつき〇まるしえには機会があれば出店し、7月の出店以降、Instagramに

よる情報発信も始めた。

- ・ボランティア・市民活動センターに登録し、体育館でのポールウォーキングやグループ活動の際に定期的にボランティアに参加いただけた。
- ・8月に2回「感染症対策（水虫等）・経路の基礎・抵抗力の弱い人に対する対応」、9月に3回「汚物処理・衣類のつけ置き・ノロを意識したガウンテクニク」10月には手洗い講習会を2回実施した。

③suginokobrand の確立

- ・事業所 HP については、コンセプト文、キャッチフレーズ、イメージ写真などの素材の検討と、構成資料作成を実施中。先行して EC サイトの制作を始めている。
- ・7月に高槻城公園芸術文化劇場にて開催された「高槻アートチャレンジ 2023」、10月にリーガロイヤルホテル大阪にて開催された「UIS&Friends」に作品を出展した。また、ご利用者1名の作品が2023年度「かんでんコラボ・アート」に入選し、2月下旬からグランフロント大阪での展示が始まっている。
- ・アート作品のオリジナルブランド「ETONE」陶芸製品のブランド「ひむろのつちもの」を立ち上げ、アート作品をモチーフにしたポストカードやTシャツ、トートバッグ等の製造・販売を始めた。

④多様な働き方

- ・法人内の SV については計画通りに進めることができた。
- ・メンター2名、メンティー1名が事業所内外でそれぞれ面談を継続している。11月11日のメンター交流会にもメンター1名が参加した。
- ・記録ソフトについては、2社のソフトのトライアルを実施したが、事業所内の他の課題もありほとんど試行できなかった。

⑤みんなで作る法人

- ・毎月の全体会議にて法人全体分も含め、進捗状況を確認した。
- ・新規で2名の利用者に対し重度障害者支援加算を算定した。また、職員2名が行動援護従業者養成研修を受講した。
- ・令和6年4月からの新規利用者については、高槻支援学校から4名、摂津支援学校から1名の生徒を確保した。

6. ぶれいすBe通所部門

(1) 令和5年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

- i) ご利用者の評価、アセスメントを全利用者に行ない、根拠ある支援をすすめていく。

②地域と共に

- i) CafeBe の地域利用の促進

③suginokobrand の確立

- i) SNS を使用した情報の発信、交換

- ii) CafeBe での誰もが利用しやすいメニューを作成する
- ④多様な働き方
 - i) 事業所内でのフォロー体制を確立し、働きやすい環境を作る
- ⑤みんなで作る法人
 - i) ChatWork 等を利用して、情報が伝わりやすい環境を整える
 - ii) 法人・施設の役割を担って、法人の動きに寄与していく
- (2) 令和 5 年度の取り組み内容と評価
 - ①杉の子マインドの浸透
 - i) 7 月に課題分析の内部研修を実施し、各チームで取り組みを進めて 12 月に課題分析の実践報告会を行った。
 - ②地域と共に
 - i) 和太鼓コンサート（6 月・11 月）やオカリナコンサート（7 月）を開催し、地域の方々に多数ご参加頂いた。
 - ii) 11 月に「はにわキッチン（子ども食堂）」を開催した。
 - ③suginokobrand の確立
 - i) インスタグラムを活用し、CaféBe でランチメニューや野菜販売やカフェの新作メニューの発信、AR 3 のご利用者の集団活動や外出活動を発信した。
 - ii) 門先生にメニュー作成についてご助言を頂き、写真メニュー素案を検討している。次年度の実用を目指す。
 - ④多様な働き方
 - i) 生活介護チームを再編成し、フォローしやすい体制作りをした。
 - ⑤みんなで作る法人
 - i) ChatWork、グーグルドライブ等を活用し、情報共有を行った。
 - ii) 常勤職員全体での業務分担を行ない、それぞれに役割を担い、事業所全体の動きを見える化していった。各 PJ、事業所を越えた役割、イベントに積極的に参加できるよう環境を整えた。

7. 地域生活支援レジデンスなさはら

(1) 令和 5 年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

- i) 各 GH でクレド・基本的価値観の浸透を行う
- ii) TTAP、評価キットの実施を行いアセスメントに基づいた支援を行う
- iii) PECS、トーキングマット研修の受講をすすめ、実践の幅を広める
- iv) 高齢化対応の質を向上させるため介護技術や医療との連携を学ぶ
- v) GH だけでなく「一人暮らし」を含めた暮らしの多様性を知り、利用者が望まれる「暮らし」の支援を検討する

②地域と共に

- i) 「魅せる」・「体験できる」GH を目指し、情報発信だけでなく、地域のイベン

- ト に参画していく、そして地域の方にお越しいただき取り組みを実施する
- ii)代理受診・代理買い物を減らしご利用者が地域とつながる機会を増やしていく
- iii)災害時対応など地域の方と共にできる仕組みを考える
- iv)他法人や他事業所への研修やコンサルテーションなどを実施し、地域貢献を推進する

③suginokobrand の確立

- i) 萩の杜と合同研修を行い暮らす場の支援を改めて知り、suginokokai の暮らし支援を考える
- ii) 重度知的障害者・自閉スペクトラム症・ダウン症の支援を振り返り、磨き上げることで支援をブランド化していく
- iii) 人材育成の力を入れるだけでなく職員間で学び合える仕組みをすすめていく

④多様な働き方

- i) ICT を活用し仕事の効率化・多様化を図る
- ii) 職場における心の健康づくりに力を入れ取り組んでいく
- iii) キャリアデザインの推奨をすすめていく
- iv) GH の「いいね」集を作成する
- v) 職員間コミュニケーションをスムーズにし、事業所内の風通しを良くする

⑤みんなで作る法人

- i) 定期的に収支状況を確認し、設備や備品等の整備をすすめる。また固定費削減をすすめる
- ii) 物価高に伴い食費、水光熱費の値上げを行う
- iii) 共益費を設置、ローリング修繕を行う
- iv) 令和 6 年度の報酬改定の情報を集め準備する
- v) コンサルテーションや実地研修の受け入れを行いより収入増を目指す

(2) 令和 5 年度の取り組み内容と評価

①杉の子マインドの浸透

- i) 各 GH で振り返りチェックシートを年 2 回実施した。
- ii) TTAP、評価キットを計 6 ケース実施しアセスメントに基づいた支援を行った
- iii) PECS、トーキングマット研修の受講をすすめ、日常の支援でも活用している
- iv) 高齢化対応の質を向上させるためぞみの園での年 1 回 1 名、明桜会での年 2 回 3 名の実習を行った
- v) のぞみの園、明桜会に行き“暮らし”についての情報を広げた

②地域と共に

- i) 阿武山祭り(年 1 回)・セーフティーボランティア(毎週)・自治会に参加した
- ii) 本人の通院、買い物に同行する機会を増やし地域参加が増えた
- iii) 防災グッズを整えてはいるが、地域の方の参加とまでは至っていない
- iv) 講師派遣(年 50 件)・コンサルテーション(6 法人)を実施した

③suginokobrand の確立

- i) 萩の杜とダウン症の合同研修を1回行い suginokokai の暮らし支援を考えた
- ii) コンサルテーションを依頼し、支援の在り方を振り返りと共に促進させている
- iii) 内部研修を現場職員が行う取り組みを行い、また GH 間でも講師派遣を行った。とれとれ研修も創設し、年3回実施。講師は現場職員が務めている

④多様な働き方

- i) Google チャット・ドライブ・カレンダーを活用し業務の能率化に取り組んだ
特にチャットに関しては感染症対策時にとっても有効である
- ii) 雑談システムや2か月に1回ヨガの先生をお呼びしヨガタイムを取り入れている
- iii) 地域生活支援部における主任のキャリアデザインの素案を作成した
- iv) Google チャットにて「いいねチャット」を作成し活用している
- v) GH 間での職員の交流やヘルプを実施し支え合っている

⑤みんなで作る法人

- i) 収支の確認を行い、人件費が減った分、2丁目ではガス乾燥機の導入、レジデンスなさはらではエアコンの買い替えを行い働く環境の整備と業務の効率化を実施した。
- ii) 物価高に伴い食費、水光熱費の値上げを行った。
- iii) 共益費を設置は実施できず、設備の維持は、ご利用者の収入にあったグレードの物に変更する準備を進めた
- iv) コンサルテーションや実地研修の受け入れを行い、年間600万円の増収があった。

8. 地域医療支援部

(1) 令和5年度重要実施事項

- ①杉の子マインドの浸透
 - ・権利擁護・ニーズに応える
- ②地域と共に
 - ・訪問看護をより身近に
- ③suginokobrand の確立
 - ・利用者・家族と共につくる
- ④多様な働き方の実現
 - ・わくわく働く
- ⑤みんなで作る法人
 - ・法人の一員として貢献

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

- ①杉の子マインドの浸透
 - ・権利擁護・根拠に基づく支援として、特性理解・特性に基づく支援を進める。内部研修で毎月繰り返し特性理解を行う。日常会話でも冰山モデルでの考え方が芽生えつつある。評価キッドの使用には至らなかった。
 - ・will との合同研修や共通利用児の情報交換、療育の見学等を行った。
- ②地域と共に
 - ・訪問看護を身近に感じていただくため、初めて家族サロンを開催。家族同士で話

ができる場をもつ。情報共有したり話に共感できるような会を開催できた。

③suginokobrand の確立

- ・北摂杉の子会らしく質の高い支援の統一を図るべく、支援にあたって特性シートや氷山モデルシートを使用することができた。

④多様な働き方の実現

- ・個々の職員が各々の働き方や仕事での自己実現を図るべく、昨年度に研修計画シートを作成したが、シートを活用し計画を作成・実施するには至らなかった。
- ・ワークライフバランスを図るべく、子育て・介護等個々の事情に応じた勤務形態の実現に可能な限り応じ訪問のカバーができる体制づくりを行うことができた。

⑤みんなで作る法人

- ・財政状況を会議の中で報告し、皆で訪問数を増やす工夫や経費を節減する工夫を考えた。

9. アクトおおさか

(1) 令和5年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

- i) アクトおおさか職員の人材育成とスキルアップ
- ii) 法人職員との連携
- iii) 杉の子マインドの浸透を府域へ

②地域と共に

- i) ありのままで安心して生活できる地域づくり

③Suginoko brand の確立

- i) 事業や取組みの情報発信
- ii) 発達障がいのある方ご自身の情報発信

④多様な働き方

- i) 働きやすい職場環境づくり
- ii) 各職員のキャリアデザインを考える

⑤みんなで作る法人

- i) プロジェクトや委員会への積極的参加

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

①杉の子マインドの浸透

- ・キャリアパス図作成時に、アクトおおさかの直接支援と間接支援を担う上で必要な知識やスキルの整理を行った。
- ・職員へのコンサル：大阪府教育委員会 SSW 黒田尚美氏より教育現場での SSW の役割と課題について学び、武庫川女子大学の澤田伸子教授から、コンサル事業の成果や振り返りのまとめ方についてや、学会発表の方法等について助言を受けた。
- ・継続して発達支援拠点の will と Link と定例会議をもち、情報共有と人材交流を促進。互いに市町村や機関へのコンサルテーションを行う上での協力体制を築いている。

- ・部署間交流研修では他事業所職員を1名受け入れ、所内から1名を送り出した。
- ・日々の相談支援を通して、「杉の子マインドの支援」を普及啓発（相談支援の実績：実1,421件、延2,994件）。
- ・センター主催の公開講座を2回開催し、計329人の参加があった。
「知ることから始めよう みんなでつながるために～自閉スペクトラム症の理解～」というテーマで支援者対象基礎理解セミナーを開催。武庫川女子大学 新澤伸子教授にご講演いただき、148名が受講。
「好き！やりたい！があふれる生活のヒントを見つけよう～発達障がいの方の動機づけへの支援～」というテーマで府民対象公開講座を開催。愛知県医療療育総合センター中央病院 吉川徹先生にご講演いただき、181名が受講。

②地域と共に

- ・7市町（門真、守口、茨木、阪南、羽曳野、交野、枚方）へコンサルテーションを実施し、地域の支援者の人材育成や支援体制の機能強化を行った（発達障がい者地域支援力向上事業）。次年度以降の事業について大阪府所管課と協議を行い、令和6年度から3年間連続して各市町村に介入できる体制や、まず始めに地域アセスメントを行い、市町村のニーズに合わせて介入する枠組みを新しく設けることを提案する等、事業を発展させることができた。
- ・家族支援の充実を目的に、ペアレント・メンター事業を継続。昨年度と同じ過去最高の26件の依頼があった。今年度初めて大学からの依頼があり、学生対象での活動を実施。他にも発達障がい啓発イベントでの活用等、活動の場が広がっている。
- ・新規ペアレント・メンター養成のための研修の一部を公開講座とし、依頼元になり得る関係機関にも発達障がいの基礎から家族支援の重要性や同事業について啓発を行った。公開講座は、学校や行政機関などから79名の参加。
- ・ライフステージを通じた切れ目ない支援のためのネットワーク構築を目指し、大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会を継続実施。第1回は、大阪市地域若者サポートステーション 田川香絵氏より「ダイバーシティに着目した発達障がいの方への就労支援」について、第2回は、株式会社なないろ 大澤佳世子氏より「教育と福祉の連携や教育現場の実際」について話題提供いただき、発達障がいの方への支援の側面から多様性を認め合える社会づくりや教育と福祉の連携について共有する場を設定した。
- ・講師派遣や主催研修の中で、発達障がいの特性理解等についての研修を36件実施。多領域の支援者の人材育成や府民への普及啓発を行った。

③suginoko brand の確立

- ・センター主催公開講座の報告をホームページで行う際に、アクトおおさかが大切にしている支援のポイントを幅広く府民や支援者に発信した。
- ・発達障がいのある方に自身の経験や思いなどをまとめて頂き、センターのホームページでブログとして発信することを目指し、現在1名の当事者と取り組みを進めている。
- ・人口規模別の地域事情の整理と大阪府発達障がい者地域支援マネージャー事業（平成

28～令和2年)の成果をまとめ、広域を担うセンターとして市町村支援を行う際に重要となる指針を検討し、発達障害学会にてポスター発表を行った。

④多様な働き方

- ・毎週事業会議とケース検討会議を設け、ケースの相互SVを実施。会議で各担当者の進捗を共有し、多岐に渡るセンター事業を全員で把握することで、事業やケースの業務配分を調整。業務負担が一定の職員にかからない職場環境づくりや、在宅や事業所以外でも勤務できる体制を整備。
- ・法人内外の研修や交流会に職員が参加し、発達障がいに関連する幅広い知識をインプットする機会を積極的に持った。(延71件)

⑤みんなで作る法人

- ・職員2名を第5次中期計画に基づく法人のプロジェクトに派遣。
- ・キャリアデザイン集の作成に職員1名が協力。

10. あんだんて・wish

(1) 令和5年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

あんだんて、wishの一体的に運営することで相談員にとっても新たに成人期、児童期の支援ニーズに対応する必要があるため、定期的なミーティングでそれぞれのニーズ、社会資源などの情報を共有しながら、相談者主体の相談支援を実施する。

②地域と共に

あんだんて、wishを一体的に運用することで児童期から成人期までのライフステージに応じた支援ニーズを共有し、自立支援協議会等を通じて地域の支援体制に働きかけていく。

③suginokobrandの確立

法人研修や実践報告会などの機会を通じて相談支援の実践報告を行うことで、地域や支援者ケースワーク実践を知ってもらい人材育成や普及啓発につなげる。

④多様な働き方

ブルーオーシャン(介護記録システム)を活用し、業務の効率化を図り、場所を選ばず業務に当たることができるように整備する

⑤みんなで作る法人

法人内のプロジェクトや各室などの法人運営に関わる横断的プロジェクトに積極的に参加し、相談支援の立場から法人運営に参加する。

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

①杉の子マインドの浸透

あんだんて、wishの一体運営を行った。双方の相談員で共有し、成人期、児童期の支援ニーズに対応するために毎週合同会議を開催した。それぞれのニーズ、社会資源などの情報を共有した。

②地域と共に

高槻市障がい者サポートネットワーク検証ワーキングより依頼を受けて「単身

生活体験事業実践報告」を行った。さらに、ララショコラ家族会からの依頼を受けて「将来の暮らし方」に関する情報提供を行った。また、昨年に引き続き自立支援協議会への参画をした。

高槻市相談支援事業所連携会議を主催。新人相談支援員の会も開催し、高槻市内の相談員全体の支援の質の向上に積極的に取り組んだ。

③suginokobrand の確立

長期的な視点を持って創造的に繋いでいくために、将来への不安を感じている児童期のご家族に向けて勉強会「卒業後の進路について」を実施した。保護者同士で情報交換ができる茶話会を CafeBe で実施した

④多様な働き方

ICT 化の定着：ブルーオーシャン（介護記録ソフト）とタブレットの活用を継続した。

⑤みんなで作る法人

事業の適正化：収支や事業状況を可視化し毎月会議で共有することで事業運営に対して、相談員全員で参加する意識を持つようになった。

1 1. ジョブサイトよど

(1) 令和 5 年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

- (i) 当たり前支援を当たり前におこなえるよう、人材育成を進めます。
- (ii) ご利用者の意思を尊重し、より良い暮らしに向けた支援をおこないます。
- (iii) 権利擁護や虐待防止の意識を高め、支援内容や対応を定期的に振り返ります。

②地域と共に

- (i) 事業所間連携をキーワードに、地域生活を支える支援体制の連携を目指します。
- (ii) 社会資源の活用など、地域との関係作りを積極的におこないます。

③suginokobrand の確立

- (i) 新規採用時の研修内容を整理します。
- (ii) SNS を活用し、外部への情報発信を進めます。

④多様な働き方

- (i) 内部研修の年間計画を立案し、着実に実行します。
- (ii) 職員一人ひとりがお互いを尊重し合える働きやすい職場風土をつくります。

⑤みんなで作る法人

- (i) よどのコロケに変わる新たな取り組みを事業所全体でおこないます。
- (ii) 収支改善に取り組めます。

(2) 令和 5 年度の取り組み内容と評価

①杉の子マインドの浸透

- (i) 職員育成に関して OJT の強化や研修受講を進めたが、職員不足もあり効果的に OJT を実施することができなかった。e ラーニング視聴は一定の成果があった。

- (ii) 事業所内に PECS 担当者を配置したが、事業所全体での取り組みには至らなかった。
- (iii) 11 月に事業所内で職員によるご利用者への不適切な対応があり大阪市へ虐待通報をおこなった。大阪市からは身体的虐待にあたることとなり、事業所全体で経緯の共有のうえ、今後の支援のあり方についてアンケートや研修を実施して再発防止に努めた。

②地域と共に

- (i) サービス担当者会議への参加や事業所間の連携などの機会を増やした。グループホームの職員とは日常的にメールやチャットワークなどを通じて情報共有を進めた。
- (ii) 新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことにより、日帰りレクリエーションを秋口に実施した。また近隣でのイベントなどへの外出機会を増やした。

③suginokobrand の確立

- (i) 新規入職する職員に ASD の基礎理解研修を入職の都度おこなった。勤務の都合上、内部研修に参加できないパート職員もおり課題となっている。
- (ii) SNS の活用には至らなかったが、広報誌（よどのかわらばん）を継続して発行した。

④多様な働き方

- (i) 内部研修や外部 SV の活用など一定の成果があったが、職員間で研修受講の機会に差があるのが課題である。
- (ii) 定期面談を継続しておこなった。フロア交流やグループホームとの交流もおこなったが、人手不足により思ったようには進められなかった。また、コミュニケーションの活性化を見据えて、会議形態を改めて運用を始めている。

⑤みんなで作る法人

- (i) フロア間の整理をおこなうため 4 階厨房の機器の移設と撤去をおこない、環境改善を図った。ご利用者 3 名がフロア異動をおこない、また 1 名がジェイ・ランチよどへ契約変更をおこなった。
- (ii) 定員を 28 名から 20 名へ変更し収支改善を図った。また職員の強度行動障害支援者養成研修受講を進め、重度障害者支援加算の対象者を増やした。2 月にご利用者 1 名が施設入所のため退所した。

1 2. ジェイ・ランチよど

(1) 令和 5 年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

- (i) 平均工賃の向上を目指します。
- (ii) ご利用者個々に合わせた環境設定、フロア設定をおこないます。

②地域と共に

- (i) 事業所間連携をキーワードに、地域生活を支える支援体制の連携を目指します。

(ii) 社会資源の活用など、地域との関係作りを積極的におこないます。

③suginokobrand の確立

(i) 自主製品の開発をおこないます。

(ii) SNS を活用し、外部への情報発信を進めます。

④多様な働き方

(i) 内部研修の年間計画を立案し、着実に実行します。

(ii) 職員一人ひとりがお互いを尊重し合える働きやすい職場風土をつくります。

⑤みんなで作る法人

(i) 平均工賃向上の取り組みを事業所全体でおこないます。

(ii) 収支改善に取り組みます。

(2) 令和 5 年度の取り組み内容と評価

①杉の子マインドの浸透

(i) 受注作業に繁忙期と閑散期があるが、閑散期にも対応できる受注をいただくことで切れ目のない仕事の提供ができ、工賃の増加にもつながった。

(ii) ご利用者個々の状況や関係性に合わせて、適宜フロア変更や環境設定の見直しをおこなった。

②地域と共に

(i) 必要に応じてサービス担当者会議への参加や事業所間の連携などをおこなったが、緊急性の高い場合が多く、普段から顔の見える関係性については一部に留まっている。

(ii) 新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことにより、日帰りレクリエーションの実施や土曜開所日での余暇活動の機会を増やした。

③suginokobrand の確立

(i) 木工作業をベースに自主製品の開発を進めたが、安定した販売までには至っていない。

(ii) SNS での広報活動や EC サイトでの衣類等の販売をおこなった。

④多様な働き方

(i) 人権研修の企画として映画鑑賞の実施と鑑賞前後の内部研修会を開催した。年間計画の立案は予定通りにはできなかった。

(ii) 日頃思ってもなかなか言い出せない業務上や支援上の困りごとを「モヤモヤアンケート」として実施した。

⑤みんなで作る法人

(i) 昨年度の平均工賃額 10,260 円から、今年度の平均工賃額は 13,214 円となり工賃向上を実現することができた。また、最低賃金の上昇に伴い、施設外就労先とも交渉委託契約額を引き上げることができた。

(ii) ご利用者 1 名が就労継続支援 A 型事業所へ、もう 1 名が他法人の就労継続支援 B 型事業所へ移行することになり退所された。また、現ご利用者の中にも通所日数を減らされる方が複数おり、収支改善を図ることができなかった。

13. レジデンスよど

(1) 令和5年度重要実施事項

①杉の子マインドの浸透

- (i) 当たり前の支援を当たり前におこなえるよう、人材育成を進めます。
- (ii) ご利用者の意思を尊重し、より良い暮らしに向けた支援をおこないます。
- (iii) 権利擁護や虐待防止の意識を高め、支援内容や対応を定期的に振り返ります。

②地域と共に

- (i) 事業所間連携をキーワードに、地域生活を支える支援体制の連携を目指します。
- (ii) 社会資源の活用など、地域との関係作りを積極的におこないます。

③suginokobrandの確立

- (i) 新規採用時の研修内容を整理します。

④多様な働き方

- (i) 内部研修の年間計画を立案し、着実に実行します。
- (ii) 職員一人ひとりがお互いを尊重し合える働きやすい職場風土をつくります。

⑤みんなで作る法人

- (i) 十三ホームの安定した運営を進めます。
- (ii) 三津屋北ホーム、十三ホーム間での連携と協力をおこないます。

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

①杉の子マインドの浸透

- (i) 職員育成に関して研修受講機会の確保に努めたが、後期は人で不足が慢性的に起こり研修受講の機会を設けることが難しかった。eラーニング視聴は一定の成果があった。
- (ii) 事業所内職員が兼務先事業所で虐待事案を起こし、虐待防止に留まらず権利擁護に付随する事柄について改めて考えることとなった。

②地域と共に

- (i) サービス担当者会議への参加や通院同行、事業所間連携などの機会を増やした。日中活動先事業所の職員とは日常的にメールやチャットワークなどを通じて情報共有を進めた。
- (ii) 近隣店舗の利用や医療機関の受診など、新たな社会資源の開拓を進めた。

③suginokobrandの確立

- (i) 新規入職者用にご利用者の簡易版のアセスメントを作成し、特性などが分かりやすく伝わるよう工夫した。
- (ii) シフト勤務のため同一時間帯に職員が集まるのが困難なため、eラーニングも含めた動画研修受講を進めた。
- (iii) SNS（インスタグラム）を開設し、ホーム内での様子を定期的に発信した。

④多様な働き方

- (i) 内部研修や外部SVの活用など一定の成果があったが、上記したように職員ごとの機会の差があるため、研修のあり方について再度構築していく必要がある。

(ii) 定期面談を継続しておこなった。日中活動先事業所との交流も継続したが、人手不足もあり進めにくい実情もあった。

(iii) 会議の内容などを周知しやすいように工夫して、伝達遅れの対策をおこなった。

⑤みんなで作る法人

(i) 当初の計画通りに十三ホームを2023年4月に開設し、大きな事故なく1年間運営することができた。7名のご利用者が生活されているが想定していたより利用率も高く、収支的にも安定して運営することができた。

(ii) 職員の不足が慢性的に起きている。また職員のコロナ陽性に伴う自宅待機等でも欠員が出ることもあったが、両ホーム間で連携し協力体制を取ることができた。

1.4. 就労支援部

(1) 令和5年度重要実施事項

①ジョブジョイントおおさか

i). 杉の子マインドの浸透

- ・新規利用者用のガイダンス資料（2年間の流れ・就労移行への指標）を試行実施する
- ・就労移行、自立訓練のプログラム内容を定期的に見直す機会をつくる
- ・就労定着支援が終了した方の支援のあり方を検討し、一定の方向性をまとめる
- ・就職者18名の実績を目指す（内JC支援目標数：2名）
- ・充足率の目標（十三：就労115%自立60%、高槻：就労100%自立65%）を達成する
- ・BWAP2を活用した事例研究の進め方を検討する

ii). 地域と共に

- ・インターンシップを中心とした大学生プログラムを充実させる
- ・大学と新たなパートナーシップを形成する（目標数：新規3つの大学）
- ・障がい者雇用セミナーを定期開催する（年間2回）

iii). suginokobrandの確立

- ・就職者のひとり暮らしに向けた支援に力をいれる（情報収集と個別相談）
- ・利用者の方の強みを活かした「強みジマン（仮称）サイト」を模索する

iv). 多様な働き方

- ・外部講師による内部研修を定期的に行う

v). みんなで作る法人

- ・GoogleWorkspaceを全スタッフで活用する
- ・Teachmebizで職員向けマニュアルを作成・整備する

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

①ジョブジョイントおおさか

i) 令和5年度は就職実績が21名となり、就職支援が順調であった一方で新規利用者の契約に苦戦した。下半期にかけて就職実績が重なるにつれて利用定員の充

足率が下がり、赤字が膨らむ結果となった。ただ、下半期より新規利用者への情報発信として関係機関に地域連携として訪問を重ね、加えて SNS や web サイトでの広報を強めたことにより新年度から新規利用への効果も見込むことができた。また、新規利用者用のガイダンス資料は本年度より活用ができ、定着支援のあり方についても話し合う時間を作ることができた。BWAP2 の活用においても下半期に検討を重ねることができ、次年度より試行実施予定である。

- ii) 大学生向けインターンシップにおいては、夏休み 3 名、春休み 3 名の計 6 名の学生さんが参加となり、6 社の企業に 5 日間のインターンシップを提供することができた。また、龍谷大学と花椿ファクトリーが協働開催するインターンシップ事業にも参画し、学生さんとの面談に同席して就労支援の情報提供を行った。
- iii) 就職者のひとり暮らしへの支援は、個別面談のなかでニーズ等の情報収集を行った。事業所から具体的なアプローチはできなかったものの、OB 会（就職者の集まり）においては勉強会等を開催することができた。
- iv) 内部研修として、毎月の SV でお世話になっている中山さんに勉強会を 2 回開催していただいた。また、1 月には三家クリニックの医療福祉相談室長の浜中さんにお越しいただき、「ASD と精神疾患」をテーマに研修をしていただくことができた。
- v) 全スタッフには GoogleWorkspace を活用してカレンダーや共有ドライブ等の活用を進めることができた。また Teachmebiz においても少しずつではあるがマニュアル作成に努めることができた。次年度においても、ICT を活用した職場環境の整備に努めていきたい。

(1) 令和 5 年度重要実施事項

②LaLa-chocolat TAKATSUKI

(i) 杉の子マインドの浸透

- ・クレドの浸透を図る
- ・内部研修・e ラーニングの活用などにより職員のスキルアップを図る
- ・仕事以外のプログラムにも力を入れ、ご利用者の充実感・モチベーションの向上を図る
- ・ご利用者・ご家族の満足度調査を実施しより良い事業所運営を目指す

(ii) 地域と共に

- ・販路の拡大、外販の機会の増加など地域との接点を増やす
- ・地域の方とコラボレーションした商品開発を進める

(iii) suginokobrand の確立

- ・店舗の認知度を高める
- ・販売スタッフのスキルアップを図り、お客様満足度の向上を目指す
- ・ご利用者が楽しく、高いモチベーションで働いていただける事業所作りを進める

(iv) 多様な働き方

- ・コミュニケーションの活性化によりチームワークの向上を図り、働きやすい職場

環境をつくる

- ・マニュアルを整備し、業務の標準化と働きやすさの向上を目指す
- ・職員の満足度調査を実施する

(v) みんなで作る法人

- ・コミュニケーションの活性化を図り、職員全体でより良い職場環境をつくっていく
- ・収支改善に取り組む（就労会計の収入：2,850万円、福社会計の収入：4,950万円を目指す）

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

(i) 杉の子マインドの浸透

- ・クレドの浸透を目標に、毎日のクレドの確認と定期的な振り返りシートの記入を実施。事業所として大切にしたいことを日々確認する時間が取れた点は良かった。今後、もう少しアウトプットの機会を持てるようにしていきたい。
- ・内部研修は計画通りに進めることができたが、eラーニングの視聴が時間の確保が難しくなかなか実施できなかった。活用方法等を見直し、改善していきたい。
- ・土曜開所の内容を見直し、余暇支援に力を入れることができた。参加人数も増え、ご利用者にも楽しんでいただくことができた。今後、無理なく継続実施していくためにも、頻度や内容について見直しをしていきたい。

(ii) 地域と共に

- ・定期的に外販の機会を持つことができ、ご利用者にも参加していただくことができた。
- ・地域性を活かした商品作りを目標に「高つきレモンショコラ」を製造、販売することができた。来年度はさらに広がりも持たせられるように、引き続き地域性のある商品開発を進めていきたい。

(iii) suginokobrand の確立

- ・継続してSNSでの発信や会員様への情報発信を行った。発信頻度や内容の改善を図り、より充実した情報発信ができるようにしていきたい。
- ・厨房での製造量アップ、ステップの作業量の確保などによる仕事内容の充実と余暇支援の充実の双方を進めることができた。ステップの業務内容をより充実感のあるものにしていけるよう、検討を進めていきたい。

(iv) 多様な働き方

- ・日々の終礼の内容を見直し、スタッフ間の情報共有に努めた。チャットワークの活用にも慣れ、スムーズに情報共有ができるようになってきている。
- ・スタッフマニュアルについては完成には至っていないが、整備を進めることができてきている。継続的に行っていきたい。

(v) みんなで作る法人

- ・収支改善について引き続き取り組みを進め、年間の目標を達成することができた。

・収支状況について、スタッフ間での情報共有が不十分であったため、事業所全体での取り組みとして情報共有を徹底していきたい。

15. 児童発達支援部

【an】

(1) 令和5年度重要実施事項

1. 杉の子マインドの浸透

法人のクレドを共有し、ケースの共有・ひやりはっとの報告を事業所内でしっかりと共有する他、虐待防止委員会の会議に職員が参加し人権意識の向上や虐待防止につなげる

2. 地域と共に

自立支援協議会や相談支援、その他関係機関との連携強化を目指す

3. suginokobrand の確立

より保護者と協働で進めていく療育の実践（保護者研修の動画提供、an ノートの活用）

4. 多様な働き方

職員が今後のキャリアアップのイメージが描けるよう、事業所間交流等の活性化を図る

5. みんなで作る法人

振替実施で利用率を安定させ、関係機関連携や家庭連携における加算を積極的に取得する

(2) 令和5年度の取り組み内容と評価

1. 杉の子マインドの浸透

ケース情報・ひやりはっと報告は全職員で共有し、日々の終会で対応策を検討する等して極力早めの対応を心掛けてきた。権利擁護虐待防止委員会への出席、職員行動チェックリストを用いた日常の支援の振り返り、権利擁護虐待防止に関する情報提供を行うなどして権利擁護意識の向上や虐待防止に努めた。

2. 地域と共に

サービス担当者会議に参加し、相談支援事業所や行政機関等の関係機関との情報共有に努めた。また、自立支援協議会に管理者が参加し地域の事業所との横のつながりの構築に努めた。

3. suginokobrand の確立

療育を保護者と協働で進めていくために、療育中にワークシートをご記入いただくなど、より保護者が療育参加していただけるような仕組みづくりを行った。また、来所者以外のご家族にも保護者研修をご視聴いただけるよう、動画配信を行った。

4. 多様な働き方

一部ではあるが、あゆみの行事に参加する等集団療育に参加する機会を持った。法人内事業所間交流や事業所外との交流については不十分であった。

5. みんなで作る法人

可能な限り振替実施を行うとともに、事業所内相談支援加算等を積極的に取得して収入の確保に努めた

【豊中市立児童発達支援センター通所部門】

(1) 令和5年度重要実施事項

1. 杉の子マインドの浸透

- (1) 職員の人権意識の向上や虐待防止に向けた実践
- (2) 積極的な事業所間交流や実習受け入れ

2. 地域と共に

- (1) 豊中市立児童発達支援センターとの連携継続 (2) 保護者支援の継続

3. suginokobrand の確立

- (1) 積極的な広報活動 (2) 法人内外での実践発表

4. 多様な働き方

- (1) ICT の活用をさらに進める (2) 人材確保の取り組み

5. みんなで作る法人

- (1) (続) 職員全員が事業所運営について理解しやすい仕組みを作る

- (2) 令和5年度の取り組み内容と評価

令和5年度の取り組み内容と評価

1. 杉の子マインドの浸透

- (1) 職員の人権意識の向上や虐待防止に向けた実践：気になる児童や保護者について、朝礼・終礼及び各会議で、情報を全体で共有できるよう努めた。虐待防止委員会に現場職員も同席するようにした。

- (2) 積極的な事業所間交流や実習受け入れ：法人内外との見学・交流を積極的に実施。

2. 地域と共に

- (1) 豊中市立児童発達支援センターとの連携継続：移転、事業拡大に伴い、管理職だけではなく現場職員を中心に、各事業の引き継ぎを実施した。

- (2) 保護者支援の継続：あゆみOB会を年間5回実施。また、OB数名を対象にグループホーム見学会（なさはら2丁目）を実施した。

3. suginokobrand の確立

- (1) 積極的な広報活動：フェイスブック・インスタグラムで定期的に取り組みを発信。

- (2) 法人内外での実践発表：業務貢献表彰や日本自閉症スペクトラム学会にて、実践発表を実施。

4. 多様な働き方

- (1) ICT の活用をさらに進める：保護者との連絡ツールソフト（コドモン）を活用。

- (2) 人材確保の取り組み：事業立ち上げに向け、キャリア採用に注力した。

5. みんなで作る法人

- (1) 職員全員が事業所運営について理解する仕組みを作る：業務マニュアルを作成。

【will/Link】

(1) 令和5年度重要実施事項

(ア) 杉の子マインドの浸透

i) 大阪府通所支援者育成事業を引き続き活用し、地域の中で特性に合わせた生活の保障が図れるように、コンサルテーションや研修の機会を増やす

ii) 大阪府への働きかけによって、「児童発達支援センターの在り方」と「発達支援拠点の在り方」について具体案を発信し、「発達支援拠点」を牽引する

(イ) 地域と共に

i) 各圏域内の市町村や児童発達支援センターと連携し、「発達支援拠点」の持つノウハウを地域へと広げていく

ii) 教育との連携において、より一層の連携を図る

(ウ) Suginokobrand の確立

i) 大阪府事業の「通所支援事業者育成事業」の成果をまとめ、大阪府や各市町村の担当課に向け、情報発信を行う

(エ) 多様な働き方

i) 法人内の事業所との連携を図り、各職員のキャリアプラン形成の一助とする

(オ) みんなで作る法人

i) 法人内のプロジェクトに参画し、法人職員としての意識を持つ

ii) 継続児に向けたグループ療育の枠を追加する(2)令和4年度の取り組み内容(2)

令和5年度の取り組み内容と評価

① 杉の子マインドの浸透

i) willについては、大阪府通所支援者等育成事業（機関支援）を通所支援事業所8事業所、教育連携2市町村実施。Linkについては、通所支援事業所20事業所、教育連携2市町村実施することができた。

ii) 大阪府との意見交換により、「児童発達支援センターと発達支援拠点の在り方」を提案し、大阪府体制整備におけるこどもWG内で検討することができた。

② 地域と共に

i) 北河内圏域においては、児童発達支援センターとの圏域連絡会を実施し、情報収集やセンター同士の関係構築を行った。三島圏域においては、児童発達センターの人材育成を目的に、機関支援の同行、機関支援のノウハウの伝達を行った。

ii) 教育センターとの連携による研修の実施や支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカーとの連携による校内研修の実施、機関支援（対象児童をモデルとした特性理解）を実施した。

③ Suginokobrand の確立

i) 通所支援事業の成果を報告するための機会として、年度初めの市町村説明会に発達支援拠点の参加が認められた。

④ 多様な働き方

i) will、Link各1名ずつ、事業所間交流を実施し、他部署との連携を深めた。児童発達支援部の合同会議や、訪問看護ステーションとの合同研修を通して他事業所との

連携を図った。

⑤ みんなで作る法人

i) 法人内のプロジェクトに職員が参画した。また、プロジェクトに参加しやすいような体制を整えた。

ii) グループ枠を1枠増やし、新たに4名の児童の受け入れを行った。

II. 各組織・事業の実施報告

1. 法人本部

(1) 理事評議員会

理事会	評議員会	開催日	決議事項	
第146回 理事会		令和5年 5月29日	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案 第8号議案	定款変更の件 法人組織再編の件 諸規則、規程類の改正の件 理事・監事候補者推薦の件 令和4年度 事業報告承認の件 令和4年度 決算承認の件 令和4年度 監事監査報告の件 理事長職務執行状況報告の件
	第71回 評議員会	令和5年 6月18日	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案	定款変更の件 令和4年度 事業報告承認の件 令和4年度 決算承認の件 監事監査報告の件 理事・監事選任の件
第147回 理事会		令和5年 6月18日	第1号議案	理事長・常務理事選任の件
第148回 理事会		令和5年 8月28日	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案	諸規則規程類の改正の件 理事長職務執行状況報告の件 事業計画進捗状況の件 4月～6月決算報告の件 ジョブサイトひむろ第2期施設整備の件 児童デイサービスセンターan 廃止の件 令和5年度第2回評議員会の件
第149回 理事会		令和5年 11月27日	第1号議案 第2号議案 第3号議案	定款変更の件 諸規則、規程類の改正の件 理事長職務執行状況報告の件

			第 4 号議案 第 5 号議案	事業計画進捗状況の件 令和 5 年度補正予算案の件
	第 72 回 評議員会	令和 5 年 12 月 17 日	第 1 号議案	定款変更の件
第 150 回 理事会		令和 6 年 1 月 22 日	第 1 号議案	ジョブサイトひむろ第 2 期工事建設 にともなう設計・監理業者の選定の件
第 151 回 理事会		令和 6 年 3 月 4 日	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案	ジョブサイトひむろ建替工事（2 期 工事）の入札スケジュールの件 ジョブサイトひむろ建替工事（2 期 工事）に係る公告事項の件 ジョブサイトひむろ建替工事（2 期 工事）に係る予定価格の決定の件 滋賀銀行からの長期運営資金（福祉 医療機構から借入するまでのつな ぎ資金）借入の件
第 152 回 理事会		令和 6 年 3 月 25 日	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案 第 8 号議案	法人組織再編の件 諸規則、規程類の改正の件 令和 6 年度 事業計画（案）の件 令和 6 年度 予算（案）の件 定時評議員会開催の件 理事長職務執行状況報告の件 （仮称）レジデンスはぎのもり施設 整備の件 （仮称）レジデンスはぎのもり施設 整備に関して造成工事業者と設計 管理業者を選定する件

(2) 職員定期健康診断

健診内容：35 歳以上の社会保険加入者は「生活習慣病予防健診」を受診。

上記以外の職員は「一般健診」を受診。

【高槻地区事業所】

日程：令和 5 年 10 月 2 日から令和 6 年 2 月 21 日まで

場所：愛仁会 総合健康センター

健診対象者：週あたり 20 時間以上勤務の職員 249 名。

【十三地区事業所】

日程：令和 5 年 10 月 2 日から 12 月 8 日まで

場所：医療法人健昌会 淀川健康管理センター
健診対象者：週あたり 20 時間以上勤務の職員 59 名。

【自閉所療育センターLink】

日程：令和 5 年 9 月 1 日から 9 月 29 日まで
場所：医療法人 敬節クリニック
健診対象者：週あたり 20 時間以上勤務の職員 4 名。

【アクトおおさか】

日程：令和 5 年 10 月 5 日から 11 月 30 日まで
場所：橘甲会 大阪予防医学健診センター
健診対象者：週あたり 20 時間以上勤務の職員 6 名。

【豊中市立児童発達支援センター通所部門】

日程：令和 5 年 11 月 8 日から 12 月 20 日まで
場所：一翠会千里中央健診センター
健診対象者：週あたり 20 時間以上勤務の職員 16 名。

(3) コンサルテーション室

1：施設コンサルテーション

国立のぞみの園特別支援課、東京都社会福祉事業団東村山福祉園、来島会南海学園などの 8 法人に加え、兵庫県強度行動障害支援スーパーバイザー養成講座を受講中の 8 法人、30 事業所に対し、合計 183 回のコンサルテーションを実施した。また、法人内の 3 事業所に対し、合計 13 回のコンサルテーションを行った。

2：講演など

三重県障がい福祉課、大阪歯科大医療福祉学会など 5 団体から依頼を受け、強度行動障害児者への支援、発達障害児者への支援に関する講演を行った。

3：シンポジストなど

岡山県障害福祉課、みつみ福祉会、兵庫県知的障害者施設協会などが開催するシンポジウムや実践報告会などにおいて、助言者を務めた。

評価：今年度から、コンサルテーションに関する事務手続きがスムーズに進むよう見直していただき、コンサルタントはコンサルテーションに集中できるようになった。施設コンサルテーション事業においては、クライアント間で支援の展開のスピードに差はあれ、どのクライアントでも利用者さんの行動改善がみられている。中には、入所以来 5 年間、施設内では必ず施錠され、施設外へ出してもらえない利用者さんが、施設外でも安定して過ごせる方法がわかり、積極的に社会参加の機会をもけるようになられた法人もある。それにつれて拘束時間も短くなっている。

また、いくつかの法人において、将来的に広域支援人材として活動できる可能性の高い支援者が育成でき、今年度から、すでに所属の法人以外からの依頼を受け、有料のコンサルテーションを展開しはじめている。

兵庫県の委託事業である、強度行動障害支援スーパーバイザー養成講座は、このような人材育成を目的としており、今後この事業でもこのような人材が育つことも具現化

しつつある。府県をまたぐ広い範囲で、北摂杉の子会が強度行動障害の状態像を示す人、自閉症スペクトラムの人に対する標準的な支援のできる人材の育成に寄与しているといえよう。

また、これまで北摂杉の子が先駆的に行っていた施設コンサルテーションが、国の制度として位置づけられたことも特筆すべき。

このように事業は順調に講師料収入が、1760万円となった。

(4) 経営戦略企画室

①北摂杉の子会セミナー

セミナーは、実行委員会形式で企画と準備に取り組み、基調講演の朝日先生のご協力もあって盛大に開催することができた（参加者：99名）。

・基調講演

「障がいのある方のその人らしい働き方を追求するーディーセントワークの実現を通して」

朝日雅也（埼玉県立大学名誉教授）

・北摂杉の子会における実践報告

1.ジョブサイトひむろ

題名「それぞれの『働く』」

発表者「松本早代」

2.LaLa-chocolat TAKATSUKI

題名「得意を発揮できる働き方～安心してチャレンジできる環境を目指して～」

発表者「中田有梨咲」

3.ジョブジョイントおおさか

題名「本人らしく働くための就労支援～2つの就職事例を通して～」

発表者「安田麻美、新井田卓子」



②日中活動支援部との連携

日中活動支援部と会議を開催し、日中活動・工賃向上・地域連携などをテーマ

に意見交換を実施した。次年度に向けての法人内プロジェクトを発足するなど、新たな動きを確認することもでき、次年度に向けて引き続き準備を進めていきたい。

③農福連携

(株) 伯耆のきのご協力をいただきながら農福連携の事業の準備を進めてきたが、土地探しが難航し、新規事業の準備も進められていない。ただ、地元の方のご協力のもと、畑を借りることができ、高槻レモンを植えることができた。農福連携に向けて少しずつ進めていきたい。

④啓発動画の制作

北摂杉の子会が大切にしていることや障がいについて正しく理解していただくために、啓発動画を作成することを目的に動画制作を検討してきた。結果的には、三津屋北の求人動画を制作し、利用者の方にも出演いただく中で理解啓発の意味も含めて動画を制作した。次年度に公開予定である。

⑤シンボルマーク

法人の新たなシンボルマークを作成するため、法人内でプロジェクトを発足。作成にあたっては大久保さん(株式会社ケント・チャップマン)のサポートも受けて取り組み、シンボルマークを完成することができた。今後は、法人内外での浸透を目指したい。



社会福祉法人
北摂杉の子会

⑥中期計画の進捗管理と計画見直し

進捗管理シートのフォーマットを作成し、人材確保育成室と連携するなかで進捗管理に努めた。

また、中期計画2年目にあたって計画内容を見直し、一部は新規の計画を立案して経営会議と運営会議の承認を得た。

(5) 人材確保育成支援室

①杉の子マインドの浸透

- 令和4年度に続き研修企画運営プロジェクトを立ち上げ、研修ニーズのアンケート結果をもとに、令和5年2月の法人研修において階層別研修の企画・運営をおこなった。

【研修企画運営プロジェクトメンバー】

岡 あゆみ	アクトおおさか
-------	---------

荻谷 沙也香	アクトおおさか
桑原 涼	ジョブサイトよど
原田 紀之	ふれいす Be
松田 勇祐	ジョブサイトよど
下 裕幸	人材確保育成支援室
石原 由佳	人材確保育成支援室

②地域と共に

- ・経営戦略企画室と協同のもと杉の子会セミナー実行員会を立ち上げ、11月にセミナーを開催した。

③suginokobrand の確立

- ・法人内 PECS コアメンバーを中心に、児童精神科医の門 Dr を迎え各事業所での SV をおこなった。

【PECS コアメンバー】

岩城 望	豊中市立児童発達支援センター 通所部門
鍵村 茜音	萩の杜
宮脇 彩香	will
渡邊 佳奈	豊中市立児童発達支援センター 通所部門
井出 帆香	レジデンスなさはらもとまち

④多様な働き方

- ・令和5年4月の法人研修においてキャリアデザイン研修を開催した。また、第3期キャリアパスプロジェクトを立ち上げ、部署ごとのキャリアパスおよびキャリアデザイン集の作成について検討を進めた。

【キャリアパスプロジェクトメンバー】

新谷 沙弥香	will
原田 智弘	ジョブサイトよど
富 亜紀子	LaLa-chocolat
野条 さりな	萩の杜
下 裕幸	人材確保育成支援室
石原 由佳	人材確保育成支援室

- ・昨年度に続き、事業所の枠を越えたななめの関係のもと、メンター制度の取り組みを継続した。11月にはメンター交流会を開催した。

【メンター制度推進担当】

富 貴大	萩の杜
下 裕幸	人材確保育成支援室
石原 由佳	人材確保育成支援室

- ・法人内全職員を対象にメンタルヘルスアンケートを実施した。またアンケート

結果をもとに、令和5年2月の法人研修においてメンタルヘルス研修を開催した。

⑤みんなで作る法人

- ・第5次5か年中期計画にそって「研修企画運営プロジェクト」「キャリアパスプロジェクト」「PECS コアメンバー」「杉の子会セミナー実行委員会」を立ち上げ、担当部長を中心にプロジェクトメンバーとともに各取り組みを進めた。
- ・人材確保育成支援室主導で「メンター制度」「新人研修」の企画運営をおこなった。

(6) 医療連携推進室会議

令和5年度は、流行した新型コロナウイルスやインフルエンザの対応と、6年度から義務化される感染症対策及びBCPの体制整備を行った。

具体的には、

① すぎのこマインドの浸透として

- ・『これまでの感染症対策とこれからの感染症対策』という題名で感染症に関する法人全体研修の企画・実施。4～6月に企画し7月29日に実施。8月に振り返りを行った。内容としては、来年度から完全義務化となる感染症対策の制度説明、経験豊富な看護師の感染対策理論と事例、レジデンスなさはらでの嘔吐処理の事例をもとにグループワークを行った。

② 地域とともに として

- ・地域事情を踏まえた感染症及びBCPの簡易版シートの整備、感染症の予防チェックリストや対応マニュアルの作成、感染症対策委員会の指針等を作成した。法令順守の観点から、来年度からの義務化に法人内全施設・事業所が対応できるように、研修やマニュアルの備えの漏れがないよう必要事項のチェック早見表を作成した。

③ suginokobrand の確立 として

- ・情報収集を行い事実に基づき評価を行い施策を考え実施をするのが北摂杉の子会の流儀である。3月4日に熊本の三気の会の松本慎太郎様を講師に招き、リアルな地震時の対応及びBCPの作成の実際を学んだ。また、同日に感染症対策委員会として、萩の杜の施設長勝部真一郎さんに、BCPに基づくコロナ対応の実際についてご講義いただいた。医師の真野先生に対応についてのご意見をいただいた。

④ 多様な働き方の実現 として

- ・各事業所の立地や施設・事業所の種別、職員構成等の違いを踏まえた感染症対策、BCPを検討した。簡易版のシートを各事業所が作成しグーグルドライブ上のファイルに保存した。
- ・コロナウイルス感染後の職員の職場復帰基準について検討した。生活系事業所では抗原検査キットを使用して復帰を判断することにした。

⑤ みんなで作る法人 として

- ・感染症対策の委員を各事業所に置いた。医療連携推進室の取り組みを法人研修等を通して職員全体に周知した。

- ・3月4日の三気の会のBCP研修には、課長級・主任級の職員の参加もあった。

(7) 権利擁護・虐待防止委員会（兼 身体拘束適正化委員会）

①目的

- ・第5次中期計画「すぎのこマインドの浸透」の遂行
- ・身体拘束適正化の知識を深めること、身体拘束適正化の指針を運用すること。
- ・令和5年度権利擁護虐待防止計画（法人全体、各部）の遂行と進捗管理
- ・権利擁護虐待防止クレドの浸透
- ・表出コミュニケーション支援の実施
- ・法人内で虐待事案等が発生した場合の共有と意識の確認

②令和6年度法人全体の権利擁護虐待防止計画

- ・全ての事業所で権利擁護虐待防止計画を作成し、計画に沿った取り組みを実施し、委員会にて進捗管理を行う。
- ・表出コミュニケーション支援を推進する等ご利用者の意思を尊重した支援を行う。
- ・スタッフ間の豊かなコミュニケーションを推進することで、孤立防止やメンタルサポートの強化を図る。
- ・ご利用者と積極的に地域に出ることや、SNSを活用するなど、地域の方のポジティブな障害理解につなげる。
- ・委員会の開催方法や構成など、参加メンバーで検討し、より良い委員会を目指す。
- ・権利擁護虐待防止委員会の取り組みを「suginokobrand」として、今後も「みんなであつくる法人」として運営を検討していく。

③令和5年度権利擁護虐待防止責任者および委員

部署名	責任者	委員
萩の杜	富 貴大	野条、松本、勝部
レジデンスなさはら	伊名岡宏	足立、濱田、前田、坪内、成田、鳥本、 為定、小久保、木村、豊野、村上
レジデンスなさはら2丁目	伊名岡宏	中山、向井、石田、塩見、竹内
レジデンスなさはらもとまち	辻本紗弥	福田、井出、大西、伊藤、喜多、 今村、尾池、佐藤
ジョブサイトひむろ	森田耕平	松本早代 丸山美桜
ぷれいす Be	松本理恵	竹内恒 荻谷、岡田、原田、西垣、及川
ジョブサイトよど	藤谷沙紀	松田勇祐、西澤美咲 下、原田
ジェイブランチよど	久保英樹	桶谷幸祐、中尾尚生
レジデンスよど 十三ホーム 三津屋北ホーム	高木萌美 森口有希	岸本、 小山、小葉竹、田中
ジョブジョイントおおさか	安田麻美	星明聡志
LaLa-chocolat TAKATSUKI	山田 優	富 亜希子
児童発達支援部 will	新谷沙弥香	宮脇彩香

児童発達支援部 Link	薬師寺朱南	瀬川果穂
児童発達支援部 an	奥平健正	平島春香
児童発達支援部あゆみ	岩城 望	久保田知佳
地域医療支援部	小林哲理	神垣律子
相談支援部	松上利男	渡邊直美
アクトおおさか	岡あゆみ	荻谷沙也香
法人事業部	佐々木寛昭	佐々木寛昭
外部委員	河坂昌利	
委員長	平野貴久	

③令和 5 年度委員会経過および検討内容

<p>▼第 1 回定例会 4 月 27 日（木）27 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度権利擁護虐待防止計画の発表と決意表明 ・各事業所の虐待防止責任者と委員の確認 ・各部の報告（トピックス） ・令和 5 年度委員会の日程等の確認
<p>▼第 2 回定例会 6 月 22 日（木）28 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部権利擁護虐待防止計画の進捗確認と情報共有（トピックス） ・萩の杜のケースで一時的に延命処置が必要になった事例に関しての意見交換。→幸い回復されました。
<p>▼第 3 回定例会 8 月 24 日（木）28 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部権利擁護虐待防止計画の進捗確認と情報共有（トピックス） ・google 共有ドライブ上での議事録等の確認 ・法人クレド振り返りチェック実施スケジュールの確認
<ul style="list-style-type: none"> ・9 月～10 月初旬クレド振り返りチェックを配布。 ・10 月末までに回収し、集計を行う。
<p>▼第 4 回 定例会 10 月 26 日（木）29 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部権利擁護虐待防止計画の進捗確認と情報共有（トピックス） 部署によって「行動障害での事故件数が増加していること」「グレーゾーンアンケートからの権利擁護虐待防止研修の実施」「事業所内での事故の件」「利用者の女性 st への性的な興味」「スタッフから虐待しそうになるという訴えの対応」「家庭内での虐待の疑い」等々が報告としてあがる。 ・クレド振り返りアンケート結果から浸透度について検証。
<p>▼臨時権利擁護虐待防止委員会 11 月 9 日（木）20 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十三ホーム、JS よどご利用者に対して、両事業所で勤務しているスタッフからの不適切な対応について意見交換を行う。 ・経過報告、質疑応答・意見交換、今後の再発防止等について検討を行った。 <p>→上記の検討内容等を虐待防止センターに報告。</p>

<p>▼第5回定例会 12月21日(木) 32名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部権利擁護虐待防止計画の進捗確認と情報共有(トピックス) ・JSよどの不適切対応についてのその後の経過や状況報告 ・「身体拘束適正化」に関するミニ研修の実施と確認
<p>▼第6回定例会 2月22日(木) 28名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部権利擁護虐待防止計画の進捗確認と情報共有(トピックス) 部署によって「満足度調査の実施と振返り」「SW分析の実施と振返り」「骨折された利用者への対応」「グレーゾーンアンケートからの研修実施」「グルーピングやフロア環境調整の実施」「ご家庭内での虐待疑いの件」「家庭内のご本人からの暴力の件」等々、状況や対応について報告があがった。 ・次年度の開催方法について検討。 ・次年度の権利擁護虐待防止計画策定のスケジュール確認

(8) 法人全体研修(職員内定者研修含む)

研修日	研修内容	発表者・報告者・担当者
4月15日 高槻城公園 芸術文化劇場	令和5年度年度方針について 第5次中期計画の進捗報告 資格取得表彰、新入職員紹介 キャリアデザイン研修	松上理事長 経営戦略企画室 人材確保育成支援室 法人事業部 キャリアパスプロジェクト home's vi
7月29日 大阪府社会 福祉会館	業務貢献優秀賞の取り組み発表 業務貢献最優秀賞の発表 感染症対策研修 講義・事例報告・グループワーク	各該当者 業務貢献表彰担当 医療連携推進室会議 岡野妙子(ふれいす Be 看護師)

11月11日 高槻市立生涯学習センター	北摂杉の子会セミナー2023 『誰にでも役割（仕事）があり、居場所がある～障がいのある方のその人らしい働き方を考える～』 基調講演 実践報告 ・ジョブサイトひむろ ・LaLa-chocolat ・ジョブジョイントおおさか 意見交換会	朝日雅也氏（埼玉県立大学名誉教授） 松本早代 中田有梨咲 安田麻美 新井田卓子
2月17日 大阪市住まい情報センター/ドーンセンター	メンタルヘルス研修『自分も相手も大切にするコミュニケーション～アサーショントレーニング』 階層別研修 ・1～3年目「発達障がい基礎講座」 ・4～9年目「実践報告（ライフスキル）」 ・10年目、リーダークラス「チームマネジメント」 ・主任「事業所交流会」 ・課長部長「メンタルヘルスアンケートの振り返り」	柴田英恵・平塚梓氏（hanae yoga studio） 堀内桂（コンサルテーション室） 各発表者 大塚寿子（社会福祉法人三篠会）

(9) 新入職員研修

研修日	研修内容	講師
5月10日	法人設立経緯、理念等について 社会人になるにあたって	松上理事長 植松副理事長
6月9日	労務管理、人事考課、予算について	法人事業部
8月4日	ビジネスマナーについて	就労支援部
9月8日	メンタルヘルスケアについて ハラスメントについて	法人事業部 人材確保育成支援室
10月6日	権利擁護・虐待防止について	権利擁護虐待防止委員会

12月8日	コミュニケーション、チームビルディングについて	人材確保育成支援室
1月12日	障がい福祉制度の概要について 個別支援計画の考え方について	地域生活支援部
3月8日	1年の振り返りと次年度に向けて	人材確保育成支援室

2. 法人事業部

(1) 機関誌

発行月	主な内容	発行部数
4月	令和5年度方針、業務貢献表彰報告	3,000
7月	レジデンスよど十三ホーム開設、業務貢献表彰報告	3,000
10月	強度行動障害のある人の地域での暮らしを考える in 高槻シンポジウム報告、業務貢献表彰報告	3,000
1月	理事長新年のあいさつ、北摂杉の子セミナー報告、業務貢献表彰	3,000

3. 萩の杜

(1) 萩の杜施設入所：生活介護

①萩の杜全体会議

i) 事業計画や予算の共有、進捗確認

②生活グループ支援会議（施設入所支援）：毎月1回開催

i) 施設入所支援各グループに関する事項を共有、検討

ii) 業務等に関する事項を共有、検討

iii) 利用者支援に関する事項の共有

③ふれっと支援会議/ふれっとなさはら支援会議（生活介護）：毎月1回開催

i) 施設入所支援各グループに関する事項の共有、検討

ii) 業務等に関する事項を共有、検討

iii) 利用者支援に関する事項の共有

IV) レクリエーションの企画、立案、評価

④リスクマネジメント委員会：毎月1回開催

i) ひやりはと報告及び事故報告内容共有、意見交換

ii) 再発防止策等の検討

⑤安全対策委員会（萩の杜家族会と協同）：コロナ禍のため、開催できず

i) ひやりはと報告及び事故報告内容共有、意見交換

ii) 再発防止策等の検討

(2) 保健看護

①保健衛生衛生業務

i) 身体測定（年2回）、体重測定（月1回）、血圧測定（有所見者のみ月1回）

ii) 健康診断

- a. 内科健診（年2回）前期：6月8日 後期：10月17日・10月31日

②保健看護業務

i) 疾病予防

- a. 内科嘱託医（なかじま診療所 中嶋医師）との連携
 b. オーラルヘルスケアサービスによる口腔衛生指導（希望者のみ・毎週水曜日）
 c. かしわせ歯科クリニックによる歯科治療（希望者のみ・毎週水曜日）
 d. 看護処置

ii) 精神科相談（毎月1回金曜日：啓友クリニック 西山医師）

iii) 受診件数（上記精神科相談・オーラルヘルスケアサービスを含む）

受診科	件数	受診科	件数
内科	462	泌尿器科	5
外科	8	小児科	14
整形外科	35	精神科	408
脳神経内科	8	認知症外来	5
眼科	7	てんかん発作外来	195
耳鼻科	8	歯科	517
皮膚科	22	入院	1
消化器科	5	救急	1

合計：1,701件

※上記入院期間及び入院先

期間	病院	診療科
11月16日-11月22日	みどりヶ丘病院	脳神経内科

延べ7日

(3) 栄養管理

①給食会議

- i) 利用者に関する報告
 ii) 食事内容等に関する報告

②その他

- i) 偏食等の利用者個別配慮調整

(4) 避難訓練

- i) リスクマネジメント委員会内にて避難訓練マニュアルの確認（2月9日）

4. 短期入所（ふれいす Be）

①ふれいす Be 利用実績

	短期入所	日中一時支援			合計
	宿泊	4時間未満	4-8時間	8時間以上	

4月	64	139	19	4	162
5月	65	136	22	2	160
6月	66	147	23	3	173
7月	70	135	27	6	168
8月	63	134	22	1	157
9月	64	134	17	2	153
10月	78	142	15	3	160
11月	64	135	22	3	160
12月	68	137	22	1	160
1月	62	136	23	2	161
2月	67	131	24	2	157
3月	71	130	28	5	163
合計	771	1639	264	34	1937

②ぶれいす Be 送迎実績

月	回数	月	回数
4月	218	10月	215
5月	221	11月	222
6月	243	12月	210
7月	228	1月	226
8月	211	2月	220
9月	210	3月	225

合計：2,649回

5. ジョブサイトひむろ

(1) 生活介護係

① ジョブサイトひむろ会議：毎月1回開催

- i) 利用者関係等、各グループ報告
- ii) 事故、ひやりはっと報告について
- iii) 事業計画、予算の進捗確認

② ジョブサイトひむろ支援員会議：不定期

- i) 事例検討
- ii) グルーピング見直し検討
- iii) アクションプラン検討

③ リスクマネジメント委員会：不定期

- i) ひやりはっと報告及び事故報告内容共有、意見交換
- ii) 再発防止策等の検討
- iii) 人権研修(グレーゾーンについて)

③ 就労支援事業担当：不定期

- i) 新規受注作業の検討
 - ii) 作業評価シート（賞与支給）の進捗確認
 - iii) 工賃規程改定についての検討
- ④レクリエーション・企画委員会：不定期
- i) 作業グループ別レクリエーション：前期 17 回、後期からは個別支援計画に基づくレクリエーションに変更
 - ii) レクリエーション企画の集約、調整
 - iii) コロナ禍後のレクリエーションの実施方法検討
 - iv) 事業所内イベント検討、実施
 - v) 日帰り旅行検討、実施
- (2) 医務栄養
- ①医務会議：毎月 1 回開催
- i) 健康、予防プログラムの進捗確認
 - ii) リハ加算の進捗確認
 - iii) 真野先生巡回相談：年間 14 回
 - a. 職員向け研修：年間 5 回
 - b. 内科健診
 - c. 新型コロナウイルス予防接種
 - d. インフルエンザ予防接種
 - e. リハビリテーション計画面談、更新
 - f. ご家族、職員の相談
 - iv) 健診オプションについての検討、ご家族との共有
 - v) 予防接種の際の医療同意の啓発
 - vi) その他医療に関わる案件の検討
- ②健康診断
- i) 利用者健康診断
 - 5 月 15 日（月）9:00～11:30（医療法人桜峰会 香川クリニック）
 - （内容）身体測定、問診、血圧測定、胸部 X 線直接撮影、尿検査、血液検査
便潜血検査、甲状腺機能検査、がん腫瘍マーカー検査（希望者のみ）
 - ii) 職員健康診断
 - 10 月 2 日（月）～12 月 20 日（水）（愛仁会総合保健センターにおいて実施）
- ③作業療法
- i) 個別セラピー：年間 34 回実施
 - ii) リハビリテーション計画書作成、評価：28 名
 - iii) ポールウォーキング
 - iv) 体育館レクリエーション
 - v) ひむろファーム活動
 - vi) 一緒にアート展の実施

- vii) ICF 研修会の実施
- viii) ボランティア・市民活動センターとの連携、ボランティアの派遣

④栄養

- i) 給食会議：不定期
 - a. ご利用者に関する報告
 - b. 特食メニューの検討

⑤広報

- i) 法人機関紙掲示板 年4回掲載の実施、すぎのこいいね年1回掲載の実施
- ii) ジョブサイトひむろ広報誌 年4回発行の実施
 - a. 法人行事の掲載
 - b. ジョブサイト年間行事の掲載
 - c. 作業グループ別レクリエーションの掲載
 - d. 日中作業風景の掲載
- iii) インスタグラムの開設、運営

6. ふれいすBe通所部門

(1) 日中活動

- ①マネジメントミーティング：毎月1回開催
 - i) ふれいすBe各AR間の連絡調整
 - ii) 内部研修の企画運営
- ②リスクマネジメントミーティング：毎月1回開催
 - i) 事故報告、ひやりはつの確認
 - ii) 権利擁護虐待防止の確認
- ③各AR会議：不定期
 - i) 個別支援計画進捗確認
- ④内部研修

日程	内容	講師
5/8	アセスメントについて	中山清司氏
6月～7月	自閉症理解のキホン	Special learning
7/8	課題分析	原田紀之
10/23	虐待防止研修	Special Learning 竹内恒

(2) 保健看護

①健康診断

- i) 利用者健康診断 前期：2023年5月27日（土）
後期：2023年10月23日（月）
- ii) 職員健康診断 2023年10月～2024年3月 愛仁会総合保険センターにて

②予防接種

- i) 新型コロナワクチン予防接種
 - 6回目 7月3日(月) 7回目 1月29日(月)
 - ii) インフルエンザ予防接種
 - 10月23日(月)、11月6日(月)
- (3) 広報
 - ①Be どうしの発行(年3回)
 - ②法人機関誌 掲示板、の掲載実施
- (4) CafeBe
 - 地域の利用促進
 - i) 貸切事業
 - a. オカリナコンサート(7月22日)
 - b. はにわキッチン(こども食堂)(11月3日)
 - c. 法人評議員会(12月17日)
- (5) 補助事業
 - JKA(競輪とオートレースの補助事業)よりハイエース(車いす用リフト)の補助を受ける。

7. 地域生活支援部レジデンスなさはら

- 1) レジデンスなさはら 2丁目
 - ①会議
 - i) 個別支援ミーティング: 毎週1回
 - ・ご利用者の特性や情報の共有と支援の統一
 - ・個別支援の進捗確認、検討
 - ・個別支援計画の策定会
 - ii) 夜勤者ミーティング会議: 半年ごとに開催(年3回)
 - ・夜間支援員と日中支援員の情報交換
 - ・夜間対応の状況確認と検討
 - ・夜間の火災や災害想定をした場合の連絡体制等
 - iii) とんだ世話人会議: 2か月に1回開催。
 - ・ご利用者の情報共有
 - ・世話人間の連絡調整
 - ・とんだ業務全般に関する検討、助言、調整、設備・備品の確認
 - iv) 連携会議
 - ・ひむろとの連携会議7名年間14回
 - ②保健衛生業務
 - i) 体重測定(最低月1回)
 - ii) 利用者健康診断
 - iii) 内科健診(年2回) 基本的に日中活動先で受診

iv) 職員健康診断（年 1 回 夜勤者は年 2 回）

v) 清掃週間

・年間 3 回、集中的に清掃・環境整備に取り組む週間を設定

③保健看護業務

i) 食事、栄養管理にて、疾病予防

ii) オーラルヘルスケアサービスによる口腔衛生指導

（希望者のみ・基本毎月 1～2 回）

iii) 各医療機関への受診

・令和 5 年度も年間 130 件以上の通院件数となっている。

（オーラルヘルスケアサービスを含むと約 300 件）

・高齢化が進み、加齢による認知症の管理をしている方や、脳梗塞後の経過観察の方もおられ、さらに高齢化に対応した支援が求められて来ている。

④避難訓練

・6 月、3 月に実施。

2) レジデンスなさはら

①会議

i) 番館ミーティング：週 1 回

・ご利用者の共通認識

・個別支援の進捗確認、検討

ii) 夜間ミーティング：年 2 回

・夜間対応の状況確認と検討

iii) なさはら連絡会（毎月第 4 火曜日）

・日勤帯職員が参加し法人からの情報提供、共有。

・予算、事業計画、アクションプランの進捗確認、検討

②保健衛生業務

i) 体重、バイタル、SPO2 の測定（毎日もしくは週 1 回）

ii) 利用者健康診断

・内科健診（年 2 回）基本的に日中活動先で受診

iii) 職員健康診断（年 1 回 夜勤者は年 2 回）

③保健看護業務

i) 往診の受診

ii) オーラルヘルスケアサービスによる口腔衛生指導

（希望者のみ・おひとり基本毎月 1～2 回）

iii) 各医療機関への受診

・今年度も年間約 270 件を超える通院件数となっている。

・高齢化の兆候がみられ、女性利用者の婦人科系が増えている

④避難訓練

・4 月に 2 回実施。通報訓練、スプリンクラーの確認、消火訓練を行う。

夜間帯でも実施していた。

3) レジデンスなさはらもとまち

①会議

i) もとまちミーティング (毎週開催)

- ・個別支援計画に基づく支援の遂行。支援の調整や対応の統一。進捗管理。
- ・収支状況の把握、タイムリーな案件 (コロナ等) についての共通認識と対応等々
- ・「もとまち基本理念」の振り返り
- ・事業計画、アクションプランの遂行

ii) 夜勤者ミーティング (年4回開催)

- ・個別支援の状況を夜間支援員と確認し、共通認識と対応の統一を図る
- ・夜勤業務の役割分担と遂行
- ・夜勤者同士の情報交換

iii) サービス担当者会議

- ・生活環境が大きく変更になったことによる状態の確認と共有
- ・ご利用者によっては医師もご参加いただき薬の狙いや効果についての共有と今後の方針の確認
- ・ご本人に必要なサービスの調整と支給決定につなげる

②保健衛生・通院等

i) 日常の健康管理、ご家族と連携による服薬管理。

ii) 体重測定 (最低月1回)

iii) 利用者健康診断

- ・内科健診 (年2回) 基本的に日中活動先で受診

iv) 職員健康診断 (年1回 夜勤者は年2回)

- v) 個別の通院同行 (睡眠や食事等の課題のあるご利用者の共通認識と通院同行)

③避難訓練

- ・9月、3月に実施。避難誘導訓練、消化訓練 (シュミレーション)、通報訓練を実施。

8. 地域医療支援部

訪問看護事業開設5年で、年間の実利用者数は1,170人であり、凡そ一月当たり100人の利用者にサービスを提供している。月100人の利用者が、毎週利用すれば件数は月あたり400件の利用となり採算が取れる (年間収入4,800万円) が、実際は、隔週利用や月1回の利用もあり、400件に満たない。ただ、12月 (100人/月)、1月 (104人/月)、2月 (110人/月)、3月 (120人/月) と利用者数は増えてきており、収入も着実に増えている。介護保険利用者は現在のところ0人である。

直近1年間における実利用者数合計 (延べ)	医療保険	介護保険
-----------------------	------	------

	1170 人	0 人
直近 4 か月の実利用者数	医療保険	介護保険
2023 年 12 月	100 人	0 人
2024 年 1 月	104 人	0 人
2024 年 2 月	110 人	0 人
2024 年 3 月	120 人	0 人

3 月の実績で、利用者の半数（51.4%）は 12 歳以下（小学生）である。一般の訪問看護指示が多いのは、12 歳以下で精神科以外の医療機関からの指示を得ているためである。今期後半は年度替わりに向けて、職員の訪問担当の見直し・振り分けを行う。開設から 5 年が経ち、当初から利用いただいていた方々の年齢が上がっている。当初は早い時間の訪問が可能であったが、年齢が上がるごとに、学校等の終了時間が遅くなる関係で、訪問看護の利用可能な時間も遅くなる。子育て等の事情のあるパート職員の退勤時間との関係もあり、訪問の振り分けが課題となった。

2024 年 3 月訪問実績 350 件（120 人）	一般訪問看護指示	精神科訪問看護指示
	214 件	136 件
年齢層（4～57 歳）	医療保険	介護保険
12 歳以下	180 件	0 件
13 歳以上 17 歳以下	53 件	0 件
18 歳以上 30 歳以下	60 件	0 件
31 歳以上	57 件	0 件

9. アクトおおさか

（1）大阪府発達障がい者支援センター運営事業

①発達障がい児（者）及びその家族等に対する相談支援と情報提供（家族等に対する家庭等での発達支援に関する相談支援と情報提供含む）

- ・個別支援：実支援人員 1,292 人、延支援件数 2,396 件
- ・個別支援のための調整会議：延実施回数 1 回、延参加機関数 2 機関

②発達障がい者及びその家族等に対する、就労に関して必要な相談等による支援

- ・個別支援：実支援人員 129 人、延支援件数 598 件
- ・個別支援のための調整会議：延実施回数 3 回、延参加機関数 9 機関

③機関コンサルテーション

- ・相談支援に関する機関コンサルテーション：521 件

- ・就労支援に関する機関コンサルテーション：1件

④関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修

- ・計36回、延参加者数 1,897人

⑤連絡協議会及び調整会議の開催

- ・発達障がい者支援センター連絡協議会：延実施回数 2回、延参加機関数 30機関
- ・関係機関との調整会議：延実施回数 13回、延参加機関数 132機関

(2) 発達障がい者地域支援力向上事業

市町村への直接支援（包括的な支援体制づくりへの助言）

a. 実施内容

アクトおおさかに配置している地域支援マネージャーが、市町村（自立支援協議会など）の会議と協働し、課題の整理や、事例検討を通じた支援体制についてのコンサルテーションを実施した。市町村の課題や現状に即したオーダーメイド型研修を実施し、発達障がい支援の核となる人材の育成や多分野での連携体制の構築等について助言を行った。

b. 実施市町村

- ・ 門真市：障がい福祉課、サブ協議会事務局会議（門真市障がい者基幹相談支援センターエー、門真市障がい者相談支援センタージェイ・エス、地域生活支援センターあん、門真市社会福祉協議会）
- ・ 交野市：福祉部障がい福祉課（基幹相談支援センター）、交野市立児童発達支援センター、学校教育部指導課、障がい児（者）相談支援センターてらサポ
- ・ 阪南市：市民福祉課、相談支援事業所まつのき園、相談支援センター愛の家「みらい」、ワークサポートステーションスウェル
- ・ 羽曳野市：障害福祉課、四天王寺悲田院児童発達支援センター、学校教育課
- ・ 守口市：障がい福祉課、学校教育課、守口市立わかかくさ・わかすぎ園（児童発達支援センター）、児童発達支援・放課後等デイサービスきららジュニア
- ・ 枚方市：児童生徒支援課、子ども未来部市立ひらかた子ども発達支援センター、枚方市障害児等関係機関連絡会議
- ・ 茨木市：発達支援課、茨木市障害者地域自立支援協議会の子ども支援プロジェクト会議（茨木市立児童発達支援センターあけぼの学園、相談支援センター「とんぼ」、相談支援センターあい・あい）、相談支援部会

c. 事業活用・派遣調整件数（打合せ、研修、事務連絡等） 計544件

d. 延研修参加機関数、延参加者数

事業所種別	延参加機関数	延参加人数
就労移行支援	4	4
就労継続支援 A型/B型	28	39
共同生活援助（グループホーム）	4	9

生活介護	11	14
基幹相談支援センター	6	9
相談支援	92	128
地域活動支援センターI型	4	4
障害者就業・生活支援センター	2	3
児童発達支援・放課後等デイサービス	67	84
児童発達支援センター	12	35
保育園／幼稚園	59	76
学校	130	149
支援学校	13	14
医療機関	2	2
保健所／保健センター	10	14
市町村（障害福祉担当課）	12	25
市町村（子育て担当課）	10	16
市町村（教育担当課）	14	23
市町村（上記以外の担当課）	3	3
その他	17	35

(3) ペアレント・メンター事業

①ペアレント・メンターの登録にかかる事務及び活用にかかる調整並びに大阪府メンター活動へのスーパーバイズ

- ・ペアレント・メンター派遣回数 26件、 延参加者数 1,409人
- ・派遣等にかかる調整件数 1,230件

②ペアレント・メンターの養成研修及びペアレント・メンター交流会等の実施

- ・実施回数 計3回

③大阪府ペアレント・メンター事業運営委員会の実施

- ・実施回数 計2回

10. あんだんて・wish

事業所名：生活支援センターあんだんて/高槻市知的障害者生活支援事業（委託相談）						
事業所名：子ども相談支援センターwish/高槻市知的障がい児相談支援事業（委託相談）						
	実人数	延べ人数	新規相談			
あんだんて	187	7967	79			
wish	61	223	54			
評価						
・市内相談支援事業所連携会議 事務局として企画運営（新人相談員の会も合わせて企画実施）						
・自立支援協議会（ケアマネ連絡会（課題分析チーム/研修チーム）子どもワーキング）						

<ul style="list-style-type: none"> ・高槻市障がい児相談支援事業所連絡会及び勉強会（行政（発達支援事業所）と市内の障がい児相談支援事業所と情報交換及び勉強会） 						
事業所名：生活支援センターあんだんて/計画相談（指定特定相談支援）						
事業所名：こども相談支援センターwish/計画相談（障がい児相談）						
実績	契約者数	計画	モニタリング			
あんだんて	186	176	473			
wish	73	74	84			
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんだんて：新規契約 8 件（wish からの移行と委託相談からの移行のみ）契約終了 7 件（死去/転居/他市グループホーム入居） ・wish：新規契約 7 件 / 契約終了 13 件（18 歳到達/転居） ・相談支援専門員養成 インターンバル実習の受け入れ 1 件 						
<p>その他</p> <p>地域との連携の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会「卒業後の進路について」及び茶話会 実施 ・「高槻市障がい福利サポートネット検証ワーキング 単身生活体験事業報告」 ・「ララショコラ家族会勉強会（将来の暮らしについて）」 ・就労・生活支援センターとの連携会議の実施 ・高槻支援学校 福祉相談会への参加 <p>業務効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化を図るため ICT 化を図った（グーグルドライブ、zoom の活用など） 						
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんだんて：新規契約 8 件（wish からの移行と委託相談からの移行のみ）契約終了 7 件（死去/転居/他市グループホーム入居） ・wish：新規契約 7 件 / 契約終了 13 件（18 歳到達/転居） ・移動支援から行動援護への変更 6 件 ・相談支援専門員養成 インターン実習の受け入れ 1 件 ・高槻市内の相談支援事業所と連携を図る他、支援力/連携力の向上、障害理解の啓発、支援者のピアサポート機能の充実に取り組んだ 						

1 1. ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチよど

(1) ジョブサイトよど

①5 階

- ・必要に応じて、サービス担当者会議の開催を相談支援事業所に打診するなどし、関係機関と連携し包括的な支援を行えるよう努めた。
- ・5 階ご利用者 2 名について、ニーズ充足の為、他フロアへの異動を進めた。
- ・ご家族やスタッフと情報共有・意見交換し、ご利用者の興味関心を生かした活動の実施を行った。

- ・スタッフ間で情報共有がし易くなるよう、フロア内終礼の実施を開始した。

②4階

- ・4月にご利用者1名が十三ホームに入居。入居前の見学し、スムーズな入居を実現した。グループホームと定期的な情報共有や通院同行、グループホームへの移行に向けて他事業所も交えたサービス担当者会議を開催など他機関・多職種連携を意識して支援にあたった。
- ・ご利用者の興味関心や季節に合わせた運動や創作活動、調理などを実施し、余暇活動の種類を増やし、ご利用者の過ごしが豊かになるように努めた。秋季レクリエーションでは、外食やゲーム大会などご利用者にそれぞれのニーズに沿ったレクリエーションを行った。
- ・1名のご利用者が他フロアから異動。フロアを超えて情報共有をこまめに行い、ニーズに沿ったスムーズな異動を実現した。ご利用者の異動に伴い、ご利用者の相性を考慮しフロアのレイアウトを変更した。
- ・1名のご利用者が施設への入所が決まったため退所。ご利用者が引き続き落ち着いて過ごせるよう入所先への情報提供や関係機関とのサービス担当者会議を行った。

③3階

- ・4月にご利用者1名がレジデンスよど十三ホームに入居。入居前の見学やグループホームとの定期的な情報共有を行い、スムーズな入居が実現した。
- ・1名ご利用者が他フロアから異動。フロアを超えて情報共有をこまめに行い、ニーズに沿ったスムーズな異動を実現した。
- ・社会資源の活用や地域住民との関係作りを目的として、神津神社で開催される淀川区主催のフリーマーケット(十三市)や十三戎へ参加した。
- ・施設外活動の1つとして、ご利用者と一緒に事業所周辺の清掃活動を行った。
- ・ご利用者の興味関心やニーズに沿った創作活動や調理、レクリエーションの実施を行うなど余暇活動の幅を広げるよう努めた。

④2階

- ・1名のご利用者が他フロアから異動。フロアを超えて情報共有をこまめに行い、ニーズに沿ったスムーズな異動を実現した。
- ・上記と同時期に、1名のご利用者が他フロアへ異動。同じくフロアを超えて情報共有をこまめに行い、ニーズに沿ったスムーズな異動を実現した。
- ・余暇活動及び健康維持の目的で、ステッパーとツイスト、バランスボールの運動器具を導入し、運動の幅を広げた。また、レクリエーションやクッキング、外食などご利用者のモチベーションとなる活動を適宜取り入れた。
- ・年度初めに、2名のご利用者がレジデンスよど十三ホームへ入居。ご家族やホーム職員と連携を行い、スムーズな入居を実現した。

(2) ジェイ・ランチよど

①受注作業

- ・昨年度同様に絵の具やダイレクトメールの受注作業を中心に仕事を継続して提供した。
- ・また上記の受注作業がない場合にできる受注作業として、施設外就労先の企業から箱折りの作業を新たに受注し、閑散期など作業が少ない時でも継続して作業を提供することができた。
- ・施設外就労先の企業からの受注作業があることで、作業のスキル以外の面で課題があり施設外就労にいけないご利用者もその企業の作業に携わることができたり、施設外就労時で折っている箱と受注で折る箱との関係を知ることができたり等、施設外就労先との繋がりや仕事の全体像などをご利用者に知ってもらえる機会が増えた。
- ・その他、寝具関連企業の作業や施設外就労先とは異なる企業の箱折り作業、書類のシュレッダー作業も継続して受注し、多岐にわたる仕事の提供ができた。
- ・ご利用者のスキルアップの点においても、受注先の増加やフロア異動後の再アセスメントなどを通して、今までやったことがなかったりできなかったりしていた作業ができるようになったご利用者が一部見られた。

②施設外就労

- ・箱の組み立て作業に行っている津田紙工は常に忙しい状態であり、安定してご利用者が通うことができた。今年1月、以前作業されていたご利用者が復帰を試みたが、体調が整わなくて断念することになった。
- ・河端ビル/堀内ビル/濱崎鍼灸整骨院等の清掃作業は固定された今まで通りのメンバーで、順調に作業できている。
- ・淀川区社会福祉協議会のトイレ清掃作業へはご利用者一名+職員一名で週二階ほぼ途切れることなく行けていたのだが、3月中頃からご利用者が体調不良になり、4月から火曜日は別のご利用者に行っていただくことになった。

12. レジデンスよど

(1) 三津屋北ホーム

①利用状況

- ・宿泊が難しいご利用者が1名おられ、ご家族や基幹相談支援センター職員、ガイドヘルパーと定期的な会議を行い移行支援を継続中。2023年5月以降宿泊できない状態が続いていたため、宿泊にこだわらずホームでおやつを食べる→ホームで夕食を食べるといったスモールステップを踏んだ支援に切り替えて4月現在週1回来所されている。他9名のご利用者は安定した利用に至っているが、その内1名より日中活動先への通所拒否と自宅への帰省希望があった。ご家族とも相談し予定より早めに帰省していただく等の対応を実施した。

②取り組み

- ・クリスマスやひなまつりなど、季節の行事に合わせてイベントを開催した。クリスマスは昨年度に引き続き豪華な夕食の提供を行うと共に、新たに壁の装飾やお菓子のプレゼントを行った。壁の装飾はご利用者にも制作など手伝っていただくことができた。ひなまつりは女性フロアの壁の装飾、夕食のデザートにあられをつけることを実施した。
- ・ご利用者の余暇で、一人で外出する活動を新たに実施。時間や使って良いお小遣いの予算、緊急時の対応などルールを作成・説明した。ご本人に行き先や買いたいものを書いた計画書を事前提出していただき、月1回週末宿泊の時に継続して実施できている。
- ・週末宿泊やティータイム外出で利用できる喫茶店を新たに2つ開拓できた。また季節の行事やご利用者のご様子などをインスタグラムに月1回ほど投稿し、三津屋北ホームのことを発信している。

(2) 十三ホーム

①利用状況

- ・4月9日に開所することができた。利用者への十三ホームの説明等、日中活動先によどやランチの支援員の協力の下、スムーズに行くことができた。
- ・GH利用に消極的だった利用者も、週に1度の利用から少しずつ慣れてこられ、連泊をされるなど利用日数も増えてきている。
- ・金曜日に帰省され、月曜日によど戻りからGHを利用されている利用者が、GHに行きたくない気持ちから体調不良を訴えられGH利用をキャンセルされることが続いた。現在、キャンセルされることはなくなったが、家族やよどと情報共有を行い、GH利用での楽しみなどを模索している状態である。

②取り組み

- ・今年度は、ハロウィン、クリスマス、バレンタインの3つの季節のイベントに取り組んだ。イベントごとにご利用者には、装飾品を制作していただいた。また、クリスマスでは、24日(日)に宿泊された方には、クリスマス仕様の豪華な夕食を提供し、25日(月)には、事前アンケートに基づいてティータイムのおやつ、もしくは夕食のデザートとしてご利用者の好きなケーキを提供した。
- ・通院が難しいご利用者について、月2回ホームに巡回してくださる看護師と連携しながら、水虫の治療を行った。不調なご様子が見られる2名のご利用者については、日中活動先のスタッフとも協力して精神科への通院同行を行い、医療と連携しながら対応を行った。

1.3. 就労支援部

(1) ジョブジョイントおおさか

①プログラム

- ・今年度もコース別プログラムを実施した。内容は以下のとおり。

就労移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・デスクワークコース ・作業コース
自立訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップコース ・チャレンジコース ・個別コース

②企業見学と企業実習

- ・就労移行支援の利用者向けに企業見学会を開催。
令和5年度は15社の企業様を見学させていただいた。
- ・企業実習においては、就労移行支援の方が5日間程度の期間で職場体験。
十三と高槻を合わせて、64回の企業実習を実施。
43社の企業様に職場体験の受入れにご協力いただいた。

③社会見学

- ・自立訓練の利用者の方向けに社会見学を開催。
令和5年度においては、以下の二社を見学させていただいた。
1. 明治なるほどファクトリー大阪 参加利用者：9名
 2. 山忠木材株式会社様 参加利用者：10名

④就職実績

(株) ニッセイ・ニュークリエーション
(株) アルペン スポーツデポ
(株) 浜田
医療法人仙養会北摂総合病院
あいおいニッセイ同和損保保険 (株)
アマゾン・ジャパン (同)
山崎製パン (株)
(株) ラウンドワン
(株) ライフコーポレーション
医療法人医誠会 医誠会国際総合病院
(株) ハンワ
ASKUL LOGIST (株)
ポーターズ (株)
ナカザワ建販 (株)
SOMPO ケア (株)
アマゾン・ジャパン (同)
(株) FOOD & LIFE COMPANIES
(株) 瀧関西商品センター
(株) ライフコーポレーション
キューピータマゴ (株)

⑤先輩のはなし

- ・毎年開催している先輩のはなしを9月9日（土）に開催した。
ご利用者21名、ご家族16名、スタッフ19名の合計56名の参加があった。

⑥内部研修

- ・毎年1回、外部講師を招いて内部研修を開催。
今回は、三家クリニックの医療福祉相談室長の浜中さんにお越しいただいた。
テーマ：「ASDと精神疾患」
参加スタッフ：18名

⑦実践報告会

- ・実践報告会は、毎年開催。
今回は、第6回目として開催した。
開催日：12月6日（水）13:30～16:30
会場：立命館いばらきフューチャープラザ
参加者：90名（満席）
基調講演：熊谷先生（東京大学）



⑧大学生インターンシップ

- ・今年度も株式会社エンカレッジ、一般社団法人 fabrica との協働で開催。
ジョブジョイントおおさかは高槻会場を担当し、インターンシップを開催した。
参加学生：6名
参加費：30,000円/人
実施期間：夏休みと春休みの期間

⑨学生支援セミナー

- ・株式会社エンカレッジと協働で学生支援に関する Web セミナーを開催。
以下、2回に開催を行うことができ、大学関係者を中心に参加していただいた。

1.立命館大学とのコラボセミナー

開催日：9月12日（火） 参加者：32名

2.龍谷大学とのコラボセミナー

開催日：11月22日（火） 参加者：19名

(2) LaLa-chocolat TAKATSUKI

①作業活動

- ・厨房：商品の袋詰めや計量作業、型抜き、シーラー、ラベル貼り等
- ・施設外就労：
 - 特別養護老人ホーム入所者の洋服たたみ/仕分け業務
 - グループホームの清掃（浴室掃除、フロア掃除機、モップがけ、窓ふき、トイレ・玄関掃除等）
 - リサイクルセンターでの部品分解・分別業務
- ・ステップ：受託作業（一斗缶キャップの組立て、段ボールのパッケージング、封入、

チラシ折り、ポスティング、市役所花壇の整備など)

②レクリエーション

エンジョイクラブ（外出等を含むレクリエーション）、サタデーサロン（室内でのプチレクリエーション）を実施。

エンジョイクラブ		
4/8	萩谷総合公園でピクニック	9名
5/13	海遊館	11名
7/1	カラオケ／調理実習	12名
8/5	カラオケ／調理実習	11名
8/26	夏まつり	19名
9/30	芋ほり	15名
10/21	アニバーサリーパーティー	21名
11/25	制作活動	15名
12/23	クリスマスパーティー	18名
1/13	ボウリング	13名
2/24	カラオケ	15名
3/30	花見	17名

サタデーサロン		
4/22	パフェづくり	12名
5/20	ピザトーストづくり	9名
6/17	映画鑑賞	6名
7/15	クレープづくり	11名
7/22	Switch	7名
8/19	プラバン、スクラッチアート	6名
9/9	フルーツポンチづくり	11名
10/7	どら焼きづくり	9名
11/18	Switch カラオケ	12名
12/2	フレンチトーストづくり	12名
1/6	おしるこ作り	9名
1/20	餃子づくり	8名
1/27	映画鑑賞	4名
2/10	チョコレートづくり	12名
3/9	マグカップケーキづくり	6名
3/23	サンドイッチづくり	10名

14. 児童発達支援部

【高槻地区】

【こども発達支援センターwill】

(1) 個別専門療育

① 利用決定者内訳

市町村名	利用決定者	
	未就学児	学齢児
高槻市	17	23
茨木市	5	5
摂津市	2	2
島本町	4	1
合計	28	31

② 療育の利用率

	児童発達 (名)	放デイ (名)	全体 (名)
契約定員 (名)	28	31	59
年間延べ回数	560	620	1180
年間必要回数	上限 (一人 : 20 回)		
1 日定員	上限 (1 日 10~12 名)		

③ 【月別・事業別の利用率表】

	児童発達	放デイ	全体
4 月	96%	97%	97%
5 月	86%	93%	90%
6 月	85%	92%	89%
7 月	89%	87%	88%
8 月	90%	73%	80%
9 月	89%	89%	89%
10 月	89%	91%	90%
11 月	87%	80%	83%
12 月	87%	79%	83%
1 月	89%	84%	86%
2 月	77%	76%	77%
3 月	93%	91%	92%
月別平均	87%	85%	87%

④保護者研修

■日 時 : 月 2 回、全 10 回、令和 5 年 5 月から令和 6 年 3 月まで実施

■会 場 : 高槻現代劇場もしくはウェブ受講

【保護者研修申込者数】

保護者研修申し込み者は43名。

実践研修申し込み者は9名。

(2) 大阪府通所支援事業者育成事業(大阪府委託事業)

①機関支援【機関支援】

【実数】 7事業所 3学校 (3市町村窓口)

【延べ数】 64事業所 11学校

	訪問支援	来訪支援	研修形式	実習受入	見学受入	電話相談	オンライン	
実事業所数	7	3	5				4	
延べ事業所数	35	5	9				15	
実学校数(行政窓口)	3(3)						1	
延べ学校数	10(3)						1	
日 時	場 所		内 容			参加事業所数	参加学校数	参加人数
1 2024/3/18~2024/3/29	オンライン		実践報告会			33		42

⑤ 情報交換会(学校対象) 4回実施

内容、実施場所、参加学校数など

日 時	場 所	内 容	参加事業所数	参加学校数	参加人数
2 2023年6月8日(木)	15:30-17:30	自閉症の特性理解		6	39
3 2023年10月17日(火)	16:00-18:00	成人期を見据えた支援とは		6	38
4 2023年11月9日(木)	16:00-18:00	自立活動に向けた考え方		6	38
5 2024年2月9日(金)	16:00-18:00	令和5年度の取り組みの発表		60	80名程度

(3) 高槻市巡回支援専門整備事業

①巡回内訳

巡回した施設・場	施設数	述べ巡回回数	助言など支援の対象児童数	対象児童に対する助言等支援の延べ回数
保育所	7 箇所	26 回	11 人	27 回

幼稚園	1	か所	1	回	0	人	0	回
子育て支援拠点施設	6	か所	6	5	1	1	1	回
児童厚生施設		か所		回		人		回
集団検診		か所		回		人		回
その他（子育て広場）	1	2	1	4	3	3	3	0
()		か所		回		人		回
合計	2	6	2	3	5	4	5	2
		か所		回		人		回
							7	6
								9

②相談年齢内訳

年齢	(人)
0歳	71 (106)
1歳	163 (290)
2歳	103 (243)
3歳	51 (137)
4歳	36 (55)
5歳	13 (18)
6歳以上	4 (7)
年齢不明	0 (1)
合計	441 (857)

【自閉症療育センタ Link】

(1) 個別専門療育

① 利用決定者内訳

市町村名	利用決定者	
	未就学児	学齢児
枚方市	11	24
寝屋川市	1	1
四條畷市	5	2
交野市	3	7
大東市	0	0
合計	20	34

②療育の利用率

【契約内容】

	児童発達 (名)	放デイ (名)	全体 (名)

契約定員（名）	20	34	54
年間延べ回数	400	680	1080
年間必要回数	上限（一人：20回）		
1日定員	上限（1日10～12名）		

③【月別・事業別の利用率表】

延べ実績 (利用率)	児童発達	放デイ	全体
4月	100%	96%	98%
5月	92%	96%	95%
6月	97%	98%	97%
7月	91%	94%	93%
8月	86%	83%	84%
9月	88%	94%	91%
10月	81%	78%	79%
11月	82%	75%	77%
12月	86%	80%	83%
1月	82%	79%	80%
2月	83%	80%	81%
3月	91%	86%	88%
月別平均	88%	74%	80%

④保護者研修

■日 時：月1回、全10回、令和5年5月から令和6年3月まで実施

■会 場：ウェブ受講・Link療育室（ワークショップの回のみ）

【保護者研修利用率】

コロナに伴い、正確な利用率は不明。

保護者研修申し込み者は22名。

実践研修申し込み者19名。

(2) 大阪府通所支援事業者育成事業（大阪府委託事業）

① 機関支援 機実数 24 事業所 5 学校
延べ数 154 事業所 9 学校

② 圏域交流会

事業所向け交流会 3回実施

内容、実施場所、参加事業所数など

日時	場所	内容	参加事業所数	参加人数

1	令和5年6月22日（木） 14：00～16：00	枚方市総合文化芸術センター別館 4階特別会議室	北河内圏域内各市の児童発達支援センターと公立の児童発達支援事業所を対象に情報交換と交流 〈大阪府障がい福祉課より2名ご出席〉 ・大阪府ご担当者様より今年度の事業にかかわるお話しと質疑	8 (7市)	13
2	令和5年11月16日（木） 14：00～16：00	枚方市総合文化芸術センター別館 4階特別会議室	北河内圏域内各市の児童発達支援センターと公立の児童発達支援事業所を対象に情報交換と交流	8 (7市)	13
3	令和5年3月18日（月）～ 令和5年3月29日（金）	動画配信	北河内圏域内すべての障がい児通所支援事業所を対象に、動画配信による実践報告会～機関支援を通じた支援の工夫～ (will;4事業所 Link; 3事業所の報告)	12	27

【児童デイサービスセンターan】

①利用決定者内訳

市町村名	利用決定者	
	未就学児	学齢児
大阪市	36	15
合計	51	

※幼児 40 名、学齢児 20 名の定員であったが、大阪市に希望登録しておられる方で今年度の利用を希望される方がいなかったため、定員に達しなかった。

②療育の利用率

	児童発達 (名)	放デイ (名)	全体 (名)
契約定員 (名)	36	15	51
年間延べ回数	720	300	1020
年間必要回数	上限 (一人：20 回)		
1 日定員	上限 (1 日 10 名)		

③月別・事業別の利用率表

延べ実績 (利用率)	児童発達 (%)	放デイ (%)	全体 (%)	療育回数 (回)

4月	97	92	96	44
5月	94	90	93	89
6月	54	21	86	75
7月	62	25	85	87
8月	58	22	87	80
9月	43	19	83	62
10月	93	96	94	94
11月	81	108	89	78
12月	86	80	85	77
1月	100	79	94	61
2月	90	74	86	83
3月	106	105	106	74
年間合計				904
月別平均	91	89	90	

④保護者研修

療育時に動画で提供 年 10回

	参加予定 (人)	参加者 (人)	出席率 (%)
第1回	51	50	98
第2回	51	49	96
第3回	51	49	96
第4回	51	47	92
第5回	51	46	90
第6回	51	46	90
第7回	51	45	88
第8回	51	45	88
第9回	51	45	88
第10回	51	45	88

⑤保護者向け交流会

	日時	参加予定 (人)	参加者 (人)	出席率 (%)
第1回	2023年7月14日(金)	5	5	100
第2回	2023年9月20日(水)	5	5	100
第3回	2023年10月31日(火)	5	5	100

第4回	2023年11月28日(火)	5	4	100
-----	----------------	---	---	-----

【豊中市立児童発達支援センター通所部門】

① 単独通所事業

【実績】

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約児数	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
療育日数	18	20	22	20	22	20	21	20	13	19	19	13	227
延べ利用児数	176	207	217	228	171	193	221	217	133	144	213	153	2273
利用率	65%	69%	66%	76%	52%	64%	70%	72%	68%	51%	75%	79%	67%

※4/1・4、12/29～1/3、3/31は閉所日。8月15日～18日(4日間)・12月26日～28日(3日間)・1月4日～5日(2日間)・3月24日～30日(5日間)は自由通所日(送迎バス運休)。

【保護者勉強会(全体)】

内容	日時	参加者数
あゆみOBとの座談会(進路について共有)	6月16日(金)10:15～12:00	20
あゆみOBとの座談会(進路について共有)	7月14日(金)10:15～12:00	12

② 個別療育事業

【実績】

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約児数	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29	356
延べ利用児数	38	44	43	45	31	38	44	39	24	24	26	25	421
保護者・関係機関との連絡調整	12	10	31	19	29	23	13	23	23	31	22	36	272
保護者・関係機関との面談	7	5	4	9	8	25	11	6	9	2	15	25	126
所属先訪問	-	1	-	4	4	-	3	3	1	-	-	-	16

【見学受け入れ】

7月18日	アートチャイルドケア（株）SED スクール JR 吹田校	1名
12月13日	YCC もこもこ豊中教室	1名

【個別支援会議】

2月13日	LINK 相談支援センター	豊中市立児童発達支援センター
-------	---------------	----------------

【保護者研修】

1	DVD 自閉症とともに～自閉症の人を理解する～
2	DVD 自閉症とともに～自閉症の人を支援する～
3	自閉スペクトラム症の特性の理解～社会性・コミュニケーション・想像すること～
4	自閉スペクトラム症の特性の理解～感覚面の特徴～
5	子どもにわかりやすく伝えるには～特性に合わせた工夫～
6	人との関りやコミュニケーション
7	評価について～子どもの“芽生え”をみつけよう～
8	困った行動の原因を考えてみよう

③ 障害児一時預かり事業

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用児数	20	9	11	19	28	18	26	25	20	14	18	21	229

本年度新規契約児数・・・・・・・・・・19件

Ⅲ. 資料編

1. 利用者の概要

(1) 萩の杜

①年齢別・性別人員構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	0	3	11	24	0	38
女	0	0	0	6	5	0	11
合計	0	0	3	17	29	0	49

②障がい支援区分/行動点数

区分	6			5			4		
行動点数	-9	10-17	18-	-9	10-17	18-	-9	10-17	18-
人数	1	27	12	4	4	1	0	0	0

③療育手帳等取得状況

	療育手帳	身体障害者手帳
--	------	---------

障害程度	A	B1	B2	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
人数	47	2	0	49	4	2	1	1	1	2	11

(2) ジョブサイトひむろ

①年齢別・性別人員構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	10	11	12	2	2	37
女	0	2	7	6	2	0	17
合計	0	12	18	18	4	2	54

②障害区分別

区分	6		5			4	
行動点数	10-17	18-	-9	10-17	18-	10-17	18-
人数	13	15	1	12	9	3	1

③療育手帳取得状況

	療育手帳			身障手帳						
障害程度	A	B	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
合計	52	2	54	3	2	0	0	2	0	7

(3) ふれいすBe

①年齢別・性別人員構成

【生活介護】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	1	10	22	2	1	1	37
女	1	9	9	0	0	0	19
合計	2	19	31	2	1	1	56

【就労継続支援B型】

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	8	7	1	1	0	17
女	1	8	0	0	0	9
合計	9	15	1	1	0	26

②障害支援区分/行動点数

【生活介護】

区分	6			5			4		3
行動点数	-9	10-17	18-	-9	10-17	18-	-9	10-17	-9
人数	18	6	8	3	5	6	8	2	2

【就労継続支援B型】

区分	6	5	4	3	2	1	区分なし
人数	0	2	8	8	3	0	6

③療育手帳等取得状況

障害程度	療育手帳				身体障害者手帳						
	A	B1	B2	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
人数	52	8	3	63	20	4	0	0	0	0	24

(4) 地域生活支援部レジデンスなさはら

【レジデンスなさはら 2丁目・グループホームとんだ】

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	50代	70代	合計
0	0	2	6	7	1	(男性 12名・女性 4名)

②障がい支援区分（共同生活援助）

区分	6	5	4	3	2	1	非該当
人数	5	5	5	1	0	0	0

【レジデンスなさはら】

1 年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
0	1	5	12	1	1	(男性 12名・女性 4名)

②障がい支援区分（共同生活援助）

区分	6	5	4	3	2	1	非該当
人数	18	2	0	0	0	0	0

【レジデンスなさはらもとまち】

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
0	3	10	1	0	0	(男性 14名)

②障がい支援区分（共同生活援助）

区分	6	5	4	3	2	1	非該当
人数	10	4	0	0	0	0	0

(5) ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチよど、レジデンスよど

①年齢別・性別人員構成

事業所	性別	20代	30代	40代	50代	合計
ジョブサイトよど	男性	3	17	6		26
	女性	2	4			6
ジェイ・ブランチよど	男性	2	8	4		14
	女性	3	1		2	6
レジデンスよど	男性		10	5		15

	女性		2			2
--	----	--	---	--	--	---

②障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	未判定
ジョブサイトよど	14	10	5	3			
ジェイ・ブランチよど			5	2	2	1	10
レジデンスよど	8	3	5	1			

③療育手帳取得状況

	療育手帳			精神障害者保健福祉手帳			
	A	B	合計	1級	2級	3級	合計
ジョブサイトよど	23	7	30	1	1		2
ジェイ・ブランチよど	1	14	15	1	4	1	6
レジデンスよど	13	4	17				0

(6) 就労支援部

ジョブジョイントおおさか

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	合計
2	8	5	2	(男性13名・女性4名)

②療育手帳取得状況

障害程度	療育手帳			精神障害者保健福祉手帳			未取得
	A	B	計	2級	3級	計	
合計	0	8	8	5	6	11	1

ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	合計
1	13	5	2	21名(男性12名・女性9名)

②療育手帳取得状況

障害程度	療育手帳			精神障害者保健福祉手帳			未取得
	A	B	計	2級	3級	計	
合計	0	11	11	7	6	13	0

LaLa-chocolat TAKATSUKI

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	50代	合計
1	13	7	3	3	27(男性13名・女性14名)

②障害者手帳等取得状況

等級	療育手帳			精神障害者 保健福祉手帳			身体障害者手帳							未取得
	A	B	計	2級	3級	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	申請中
人数	13	13	26	0	2	2	1	1	2		1		5	0

2. 職員配置

(1) 法人事業部

	基準職員数	実配置職員数
正職		7.0
嘱託		2.0
パートタイマー		3.0
計		12.0

(2) 萩の杜

	基準職員数	実配置職員数
正職		18.0
嘱託		6.0
パートタイマー		24.0
計		48.0

(3) ジョブサイトひむろ

	基準職員数	実配置職員数
正職		14.0
嘱託		4.0
パートタイマー		14.4
計	29.8	32.4

(4) グループホームとんだ・レジデンスなさはら2丁目

	基準職員数	実配置職員数
正職		2.5
嘱託		0.7
パートタイマー		2.5
計	7.18	5.7

(5) レジデンスなさはら

	基準職員数	実配置職員数
正職		10
嘱託		2.6

パートタイマー		5.5
計	12.4	18.1

(6) レジデンスなさはらもとまち

	基準職員数	実配置職員数
正職		7.5
嘱託		0.7
パートタイマー		0.2
計	8.25	8.4

(7) ふれいす Be 通所部門

	基準職員数	実配置職員数
正職		13
嘱託		3
パートタイマー		18.7
計	26.2	34.7

(8) ふれいす Be 短期入所

	基準職員数	実配置職員数
正職		1.0
嘱託		1.0
パートタイマー		4.0
計	2	6.0

(9) 地域医療支援部

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.0
嘱託		0
パートタイマー		2.5
計		5.5

(10) あんだんて、wish

	基準職員数	実配置職員数
正職		4
嘱託		0.0
パートタイマー		0.6
計		4.6

(11) アクトおおさか

	基準職員数	実配置職員数

正職		5.0
嘱託		1.2
パートタイマー		0
計		6.2

(12) ジョブサイトよど

	基準職員数	実配置職員数
正職		6.3
嘱託		3.0
パートタイマー		6.4
計	14.5	15.7

(13) ジェイ・ブランチよど

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.0
嘱託		1.0
パートタイマー		3.2
計	3.3	7.2

(14) レジデンスよど

	基準職員数	実配置職員数
正職		5.0
嘱託		0
パートタイマー		2.5
計	7.4	7.5

(15) ジョブジョイントおおさか

	基準職員数	実配置職員数
正職		2.0
嘱託		0
パートタイマー		3.7
計	4.9	5.7

(16) ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ

	基準職員数	実配置職員数
正職		4.0
嘱託		3.0
パートタイマー		2.6
計	6.6	9.6

(17) LaLa-chocolat TAKATSUKI

	基準職員数	実配置職員数
正職		4.0
嘱託		0
パートタイマー		2.9
計	4.7	6.9

(18) こども発達支援センターwill

	基準職員数	実配置職員数
正職		4.0
嘱託		0.8
パートタイマー		0.3
計	3.0	5.1

(19) こども発達支援センターLink

	基準職員数	実配置職員数
正職		2
嘱託		0
パートタイマー		2.0
計	3.0	4.0

(20) 児童デイサービスセンターan

	基準職員数	実配置職員数
正職		5.0
嘱託		0
パートタイマー		0.6
計	3.0	5.6

(21) 豊中市立児童発達支援センター通所部門

	基準職員数	実配置職員数
正職		16.8
嘱託		0
パートタイマー		4.0
計	12.0	20.8

3. 採用状況

令和5年4月1日

will

一森 蒼生

令和5年4月1日

発達支援あゆみ

乾 那穂

令和5年4月1日

an

奥平 健正

令和5年4月1日

発達支援あゆみ

小原 早智

令和5年4月1日	法人事業部	神垣 高定
令和5年4月1日	レジデンスよど十三ホーム	岸本 麻希
令和5年4月1日	ジョブサイトよど	桑田 はるか
令和5年4月1日	レジデンスよど三津屋北ホーム	小葉竹 真帆
令和5年4月1日	レジデンスなさはらもとまち	佐藤 夏実
令和5年4月1日	ジョブサイトよど	園内 美彩
令和5年4月1日	ジョブサイトひむろ	埴 薫子
令和5年4月1日	発達支援あゆみ	高本 万尋
令和5年4月1日	レジデンスよど三津屋北ホーム	田中 愛唯
令和5年4月1日	an	西口 知宏
令和5年4月1日	ぶれいす Be	藤本 華成美
令和5年4月1日	萩の杜	松井 星香
令和5年4月1日	萩の杜	松本 悠
令和5年4月1日	萩の杜	水田 有希乃
令和5年4月1日	レジデンスなさはら	村上 佳香
令和5年4月1日	ぶれいす Be	吉見 寧々
令和5年4月1日	訪問看護	中野 昌代
令和5年11月1日	発達支援あゆみ	濱崎 華子
令和5年11月1日	発達支援あゆみ	山本 美穂
令和6年1月1日	ジョブサイトひむろ	川端 順也
令和6年1月1日	発達支援あゆみ	小島 美保子

4. 退職

令和5年4月26日	レジデンスよど三津屋北ホーム	田井 菜菜子
令和5年4月30日	Link	佐山 瑞希
令和5年6月30日	will	尾崎 麻智
令和5年6月30日	萩の杜	鬼塚 舞
令和5年6月30日	ジョブサイトひむろ	若林 愛弓
令和5年6月30日	ジョブサイトひむろ	上田 優香
令和5年7月31日	ジョブサイトよど	山口 成美
令和5年8月2日	ぶれいす Be	藤本 華成美
令和5年8月31日	法人事業部	河辺 太一
令和5年12月20日	ぶれいす Be	下飼 凌太
令和5年12月31日	レジデンスなさはらもとまち	佐藤 夏実
令和6年2月18日	ジョブサイトひむろ	清水 愛
令和6年3月31日	ぶれいす Be	荻谷 厚志
令和6年3月31日	萩の杜	富 貴大
令和6年3月31日	ぶれいす Be	岡田 麻衣

令和 6 年 3 月 31 日	発達支援あゆみ	久保田 知佳
令和 6 年 3 月 31 日	発達支援あゆみ	前田 朝美
令和 6 年 3 月 31 日	will	鈴江 栞奈

5. 正職員の主な資格取得状況

資格の名称	人数
社会福祉士	63
介護福祉士	26
保育士	26
精神保健福祉士	11
公認心理師	18
臨床発達心理士	4
臨床心理士	4
准看護師	1
看護師	4
作業療法士	4
管理栄養士	1
日商簿記 3 級	2
クリーニング師	2

6. 実習受け入れ状況

武庫川女子大学大学院	ジョブジョイントおお さか	1	4 月
	たかつきランチ	1	
堺 ピーす	will、Link	1	5 月
関西学院大学	ジョブサイトよど ジェイ・ランチよど	1	5/12～6/16 (40 時間)
阿武野高校	ふれいす Be	2	7 月
大阪医科薬科大学	ふれいす Be	8	8 月
大阪樟蔭女子大学	will、Link	7	9 月
兵庫教育大学大学院	ジョブジョイントおお さか	1	9 月
	たかつきランチ	1	
大阪樟蔭女子大学	will、Link	7	10 月
武庫川女子大学大学院	たかつきランチ	1	10 月
大阪保育福祉専門学校	萩の杜	1	10 月 2 日-14 日
大阪市立大学	ジョブサイトよど	2	11/8～11/24 (60 時間)

	レジデンスよど		
市民後見実習	ふれいす Be	1	12月
大阪手をつなぐ育成会	ジョブサイトよど ジェイ・ブランチよど	2	12/6～12/13、 2/7～2/9
京都女子大学	ふれいす Be	1	2月
大阪人間科学大学	ジョブサイトひむろ	1	2月19日～2月29日
大阪公立大学医学部	すぎのこ訪問看護ステーション	1	2月14日-15日
京都女子大学	ジョブサイトよど ジェイ・ブランチよど	1	2/27～3/11 (60時間)
京都女子大学	ジョブサイトひむろ	1	3月4日～3月14日

7. 職員研修・研究会

開催月	研修会・研究会の名称
4	バリアフリー、看護未来展
	法人研修
	発達障害の人と暮らす地域を目指して
	すぎのこ訪問看護ステーションの支援の考え方
	JDDnet 大阪主催発達障がい啓発イベント「発達障害における家族支援」
	世界自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間 in OSAKA 2023
5	「自閉症の特性と理解」「ケース SV」
	PECS レベル1 ワークショップ
	新澤先生 SV 研修
	Will/Link 合同会議 (PECS)
	親の会活動と支援者の思い
	Autism Caravans キックオフセミナー
	TEACCH の概要と特性理解
	令和5年度第1回発達障害者地域支援マネジャー定例会
	令和5年度 第1回 信州大学医学部子どもこころ診療部セミナー
	TEACCH 公式トレーニング (Fundamentals of Structured Teaching)
6	「PECS (表出コミュニケーション) 実践発表」
	「自閉症の特性と理解」「ケース SV」
	自閉症 e サービス 自閉症の特性
	会議ファシリテーション研修 (基礎編)
	そうそうの杜の地域生活支援～シェアハウスの実践～
	自閉症スペクトラムの特性理解
	部内ケース会議

	ライフステージごとの自閉症支援の基本
	発達障害のある学生・若者が就活をする際の困りごとと必要な支援
	職リハ学会近畿ブロック研修会
	就労ネット「企業支援+実践報告」
	特性理解と will の支援（新谷部長）
	令和5年度 発達障害者支援センター全国連絡協議会 鹿児島大会
	エンカレッジ就労支援セミナー
	令和5年度 発達障害者支援センター職員研修
	2023 障大連・連続研修会<第1回>
	アクトおおさか内部研修 センターの機能強化等についてのSV
7	行動援護従事者養成研修
	強度行動障がいのある人の地域での生活を考える in 高槻
	門先生研修
	新澤先生 SV 研修
	法人研修
	触法・ひきこもりの支援
	ジョブコーチセミナー*2日間
	構造化・自立課題
	令和5年度発達障害者地域支援マネジャー研修会（基礎研修）
	大阪障害者職業センターにおける就労支援セミナー
	全日本自閉症支援者協会近畿ブロック主催研修
8	対人援助専門職講座
	PECS®レベル1 ワークショップ
	5 day トレーニングセミナー
	will・Link・訪問看護合同研修（ケース検討）（学習スタイル）
	職リハ学会かながわ大会
	フレームワークの活用方法
	PECS レベル2
9	リーダーの役割、人材育成
	淀川区自立支援協議会 強度行動障害のある方への支援の実践報告
	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）
	基礎理解セミナー 自閉スペクトラム症の理解
	大阪知的障がい者福祉大会
	PECS レベル1 ワークショップ
	新澤先生 SV 研修
	コミュニケーション支援
	コミュニケーション I

	日本ペアレント・メンター研究会セミナー&交流会
	令和5年度まつのき園主催研修
10	「自閉症の特性と理解」「ケース SV」
	福祉職員研修【中堅職員】～福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程研修～
	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）
	サービス管理責任者等基礎研修
	部内ケース会議
	Special Learning 障がい福祉リーダーMeet up
	PWS 支援者ネットワーク 第48回定例会
	第58回 近畿地区知的障害者関係施設職員研修会
	コミュニケーションⅡ
	令和5年度 相談業務研修
	アクトおおさか内部研修「大阪府における SSW の成り立ちや役割、現状について」
11	「胃腸炎・嘔吐対応についてのミニ研修」
	サービス管理責任者等基礎研修
	中核的人材養成研修
	令和5年度社会福祉施設、事業所等における感染症予防に係る研修会
	フェリシモ（たんぼぼの家）ここから始まるチャレンジアート展
	杉の子会セミナー
	新澤先生 SV
	就労移行支援運営セミナー
	就労支援基礎講座
	PECS 概要
	日本発達障害学会 第58回研究大会
12	大阪府立寝屋川支援学校との PECS 実践交流会
	大阪知的障害者福祉協会施設長研修会
	aboutme7
	5 法人 ジョイントセミナー
	PECS 研修（門先生）
	令和5年度 発達障害者支援センター全国連絡協議会近畿ブロック研修会
1	福祉職員 OJT リーダー研修
	動画で学ぶ！障がい者施設の虐待防止研修～よりよい支援のために～
	サービス管理責任者更新研修
	新澤先生 SV
	アクトおおさか公開講座
	事例検討

	国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター 令和5年度支援者向けセミナー
2	「自閉症の特性と理解」「ケース SV」
	大人の発達障がい～自分の発達凸凹を知って自分らしく生きる～
	大阪府相談支援従事者初任者研修
	PECS レベル1 ワークショップ
	高槻市障がい者工賃向上セミナー
	will・Link・訪問看護合同研修（ケース検討）（冰山モデル・支援計画）
	就労支援セミナー「実践から学ぶ！発達障害のある人の支援」
	機関支援の実践～発達障がいに特化した地域コンサルテーション～
	第24回日精診チーム医療・地域リハビリテーション研修会 大阪大会
3	淀川区社会福祉施設連絡会研修会（災害）
	職員研修（PEP3について）
	CEF2024
	事例検討
	法人内研修「地震等の自然災害時の初動や対応について～BCP整備に向けて～」
	テキストマイニング講習会

派遣受講研修

事業所	派遣研修回数（実研修）
なさはら	45 研修
もとまち	30 研修
2丁目	10 研修

視察

視察先
独立行政法人 のぞみの園 1名
社会福祉法人 はる 1名
社会福祉法人 やまびこの里 4名
社会福祉法人 明桜会 4名